

内外経済動向

2023年10月

IMF世界経済見通し（2023年10月10日公表）

- 10月10日に公表されたIMFの世界経済見通しでは、2023年の世界の実質成長率見通しは3.0%と前回（3.0%）から据え置かれ、2024年の成長率見通しは2.9%と前回（3.0%）から下方修正された。米国の景気は底堅い一方で、ユーロ圏の高インフレや中国の不動産危機が深まる可能性などが反映された。日本の23年の成長率は、繰越し需要や訪日観光客の急増、自動車輸出の回復などにより、2.0%へと上方修正された。

	2023年成長率見通し			
	IMF		(参考) OECD	(参考) 世界銀行
	(2023年7月)	(2023年10月)	(2023年9月)	(2023年6月)
世界	3.0%	→ 3.0%	3.0%	2.1%
先進国	1.5%	→ 1.5%	-	0.7%
日本	1.4%	↗ 2.0%	1.8%	0.8%
米国	1.8%	↗ 2.1%	2.2%	1.1%
ユーロ圏	0.9%	↘ 0.7%	0.6%	0.4%
新興国・途上国	4.0%	→ 4.0%	-	4.0%
中国	5.2%	↘ 5.0%	5.1%	5.6%
インド	6.1%	↗ 6.3%	6.3%	6.3%
ロシア	1.5%	↗ 2.2%	0.8%	▲0.2%

IMF	
2024年成長率見通し	
(2023年7月)	(2023年10月)
3.0%	↘ 2.9%
1.4%	→ 1.4%
1.0%	→ 1.0%
1.0%	↗ 1.5%
1.5%	↘ 1.2%
4.1%	↘ 4.0%
4.5%	↘ 4.2%
6.3%	→ 6.3%
1.3%	↘ 1.1%

(資料) IMF「World Economic Outlook」(October 2023)、OECD「Interim Economic Outlook」(September 2023)、World Bank「Global Economic Prospects」(June 2023)

※(前回見通しと比較して) ↑: 上方修正、↓: 下方修正、→: 横ばい。

※ハイライトは今回公表分

日本經濟

米**国**經濟

中**国**經濟

欧**州**經濟

9月月例経済報告の概要（9/26公表）

＜総括判断＞（据え置き）

今月

景気は、緩やかに回復している。

（本年5～8月） 景気は、緩やかに回復している。

（本年3・4月） 景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

（本年1・2月） 景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

（昨年7～12月） 景気は、緩やかに持ち直している。

＜先行き＞（前月から変更なし）

今月

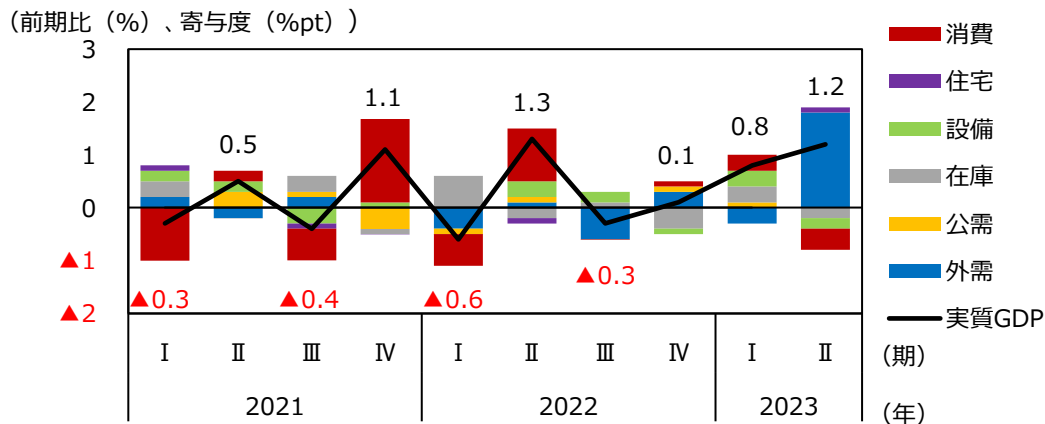
先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。

ただし、中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

GDP

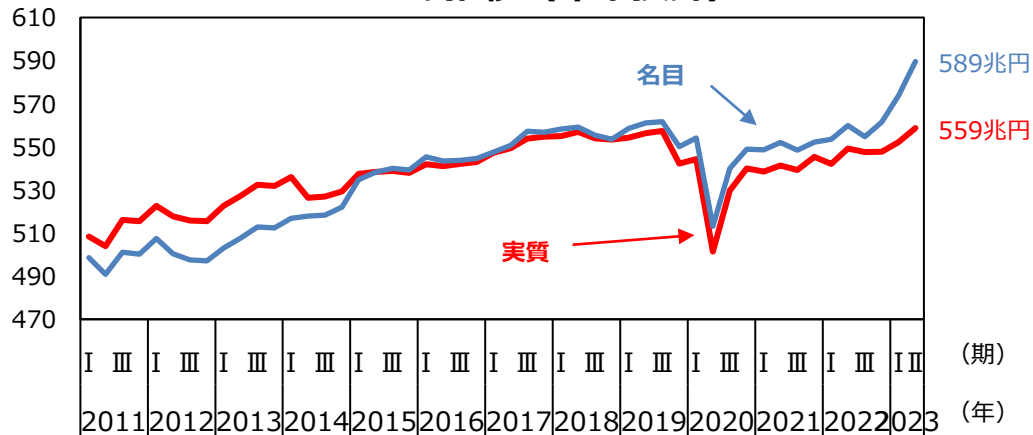
- 2023年4-6月期実質GDP（2次速報値）は、外需のプラス寄与で、前期比+1.2%（年率+4.8%）と、3四半期連続のプラス成長。
- 実質で559兆円（年率換算）、名目で589兆円（年率換算）。

実質GDPの成長率の推移



(資料) 内閣府「国民経済計算」2023年9月8日公表（2次速報値）

GDPの推移（年率換算）



(注) 実質GDPは2015年基準

(資料) 内閣府「国民経済計算」2023年9月8日公表（2次速報値）

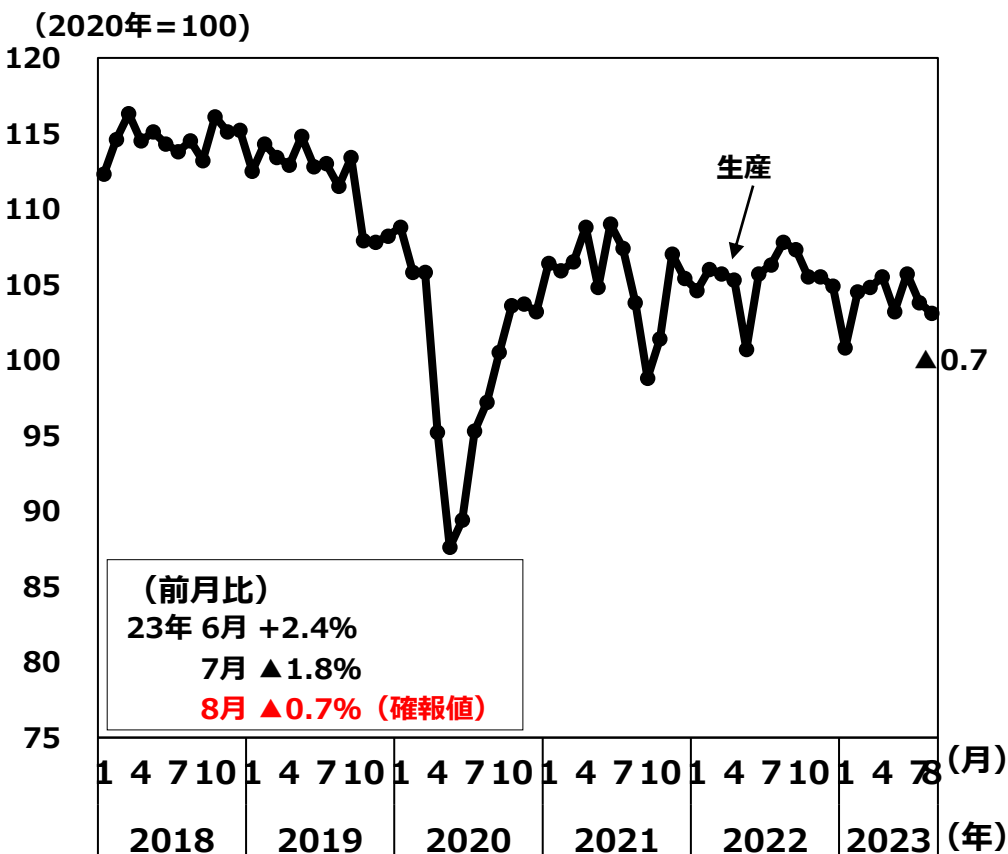
	前期比(%)		寄与度(%pt)	
	1次速報	2次速報	1次速報	2次速報
実質GDP (年率)	1.5	1.2		
6.0	4.8			
内需	—	—	(▲0.3)	(▲0.6)
民需	—	—	(▲0.4)	(▲0.6)
民間消費	▲0.5	▲0.6	(▲0.3)	(▲0.4)
住宅投資	1.9	2.0	(0.1)	(0.1)
設備投資	0.0	▲1.0	(0.0)	(▲0.2)
民間在庫	—	—	(▲0.2)	(▲0.2)
公需	—	—	(0.1)	(0.0)
政府消費	0.1	0.0	(0.0)	(0.0)
公共投資	1.2	0.2	(0.1)	(0.0)
外需	—	—	(1.8)	(1.8)
輸出	3.2	3.1	(0.7)	(0.6)
輸入	▲4.3	▲4.4	(1.1)	(1.1)
名目GDP (年率)	2.9	2.7		
12.0	11.4			
GDPデフレーター(前年同期比)	3.4	3.5		

(資料) 内閣府「国民経済計算」2023年9月8日公表（2次速報値）

生産

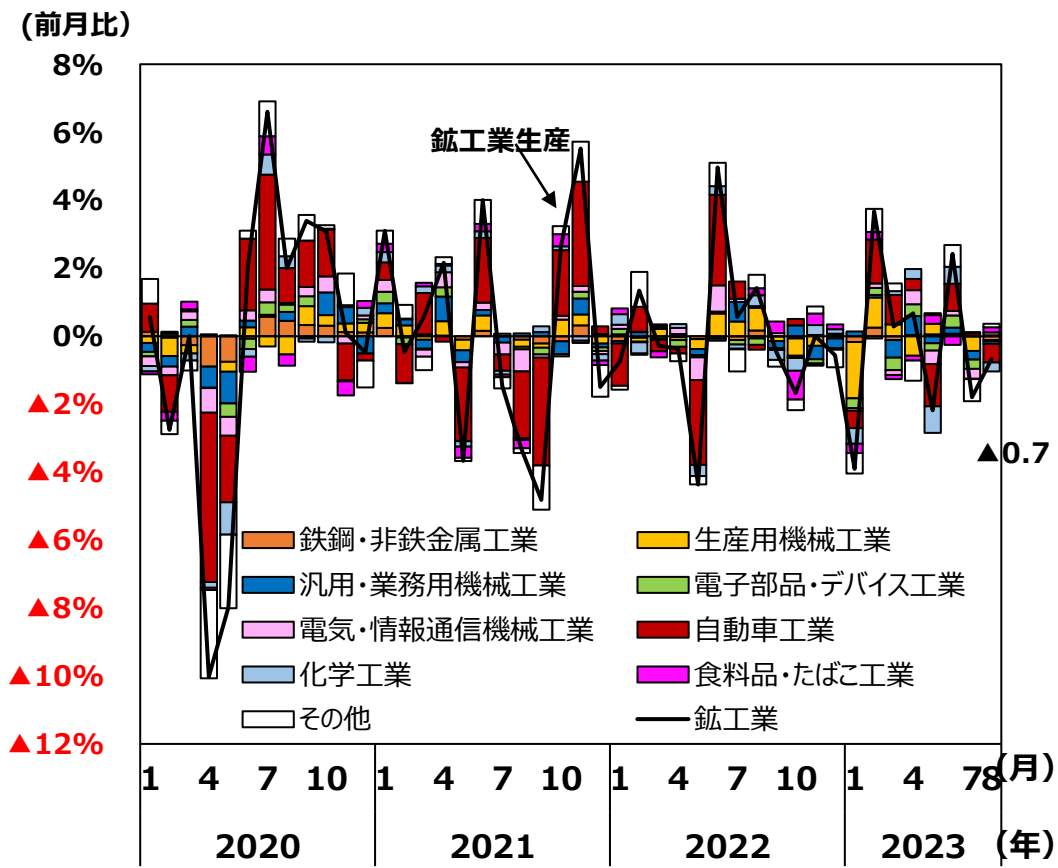
- 23年8月は、前月比▲0.7%と2ヶ月連続の低下。工場稼働停止の影響があった自動車工業など、多くの業種が低下。先行きは上昇の見込み。
- 23年8月の生産の基調判断は、「生産は一進一退」（据え置き）。

鉱工業指数の推移



(注) 季節調整値
(資料) 経済産業省「鉱工業指数」2023年10月16日公表 (確報値)

変動要因 (業種別)



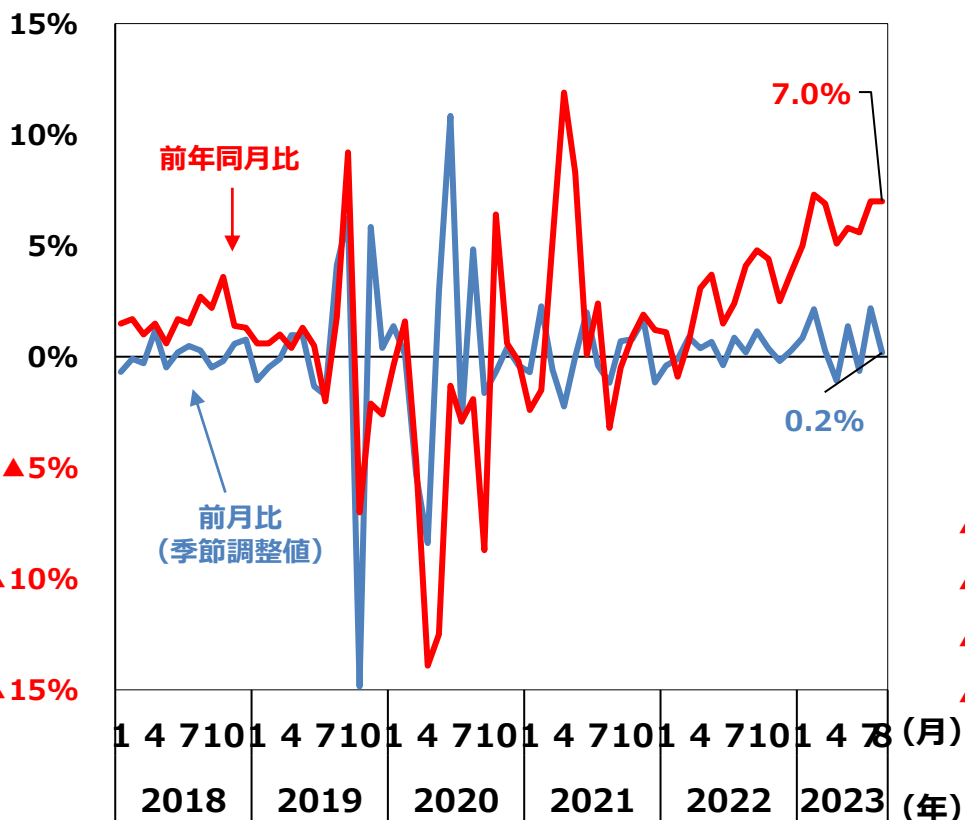
(注) 季節調整値
(資料) 経済産業省「鉱工業指数」2023年10月16日公表 (確報値)

消費①

- 23年8月の小売業販売額は、13.4兆円。前年同月比は+7.0%で18か月連続の増加となり、前月比は+0.2%で2か月連続の増加となった。
- 主要な業態である百貨店、コンビニ、スーパーは、いずれも前年同月比で増加となった。

小売業販売額

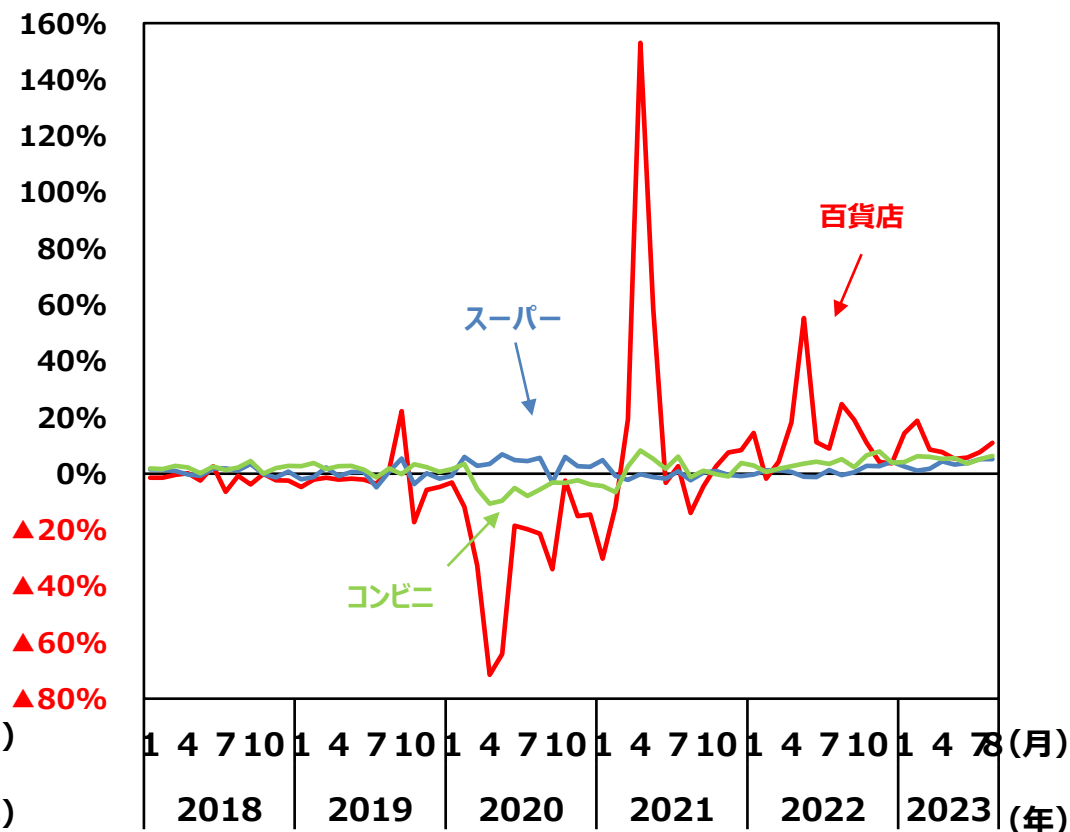
(前年同月比、前月比)



(資料) 経済産業省「商業動態統計」2023年10月16日公表 (確報値)

百貨店・スーパー・コンビニ (全店)

(前年同月比)



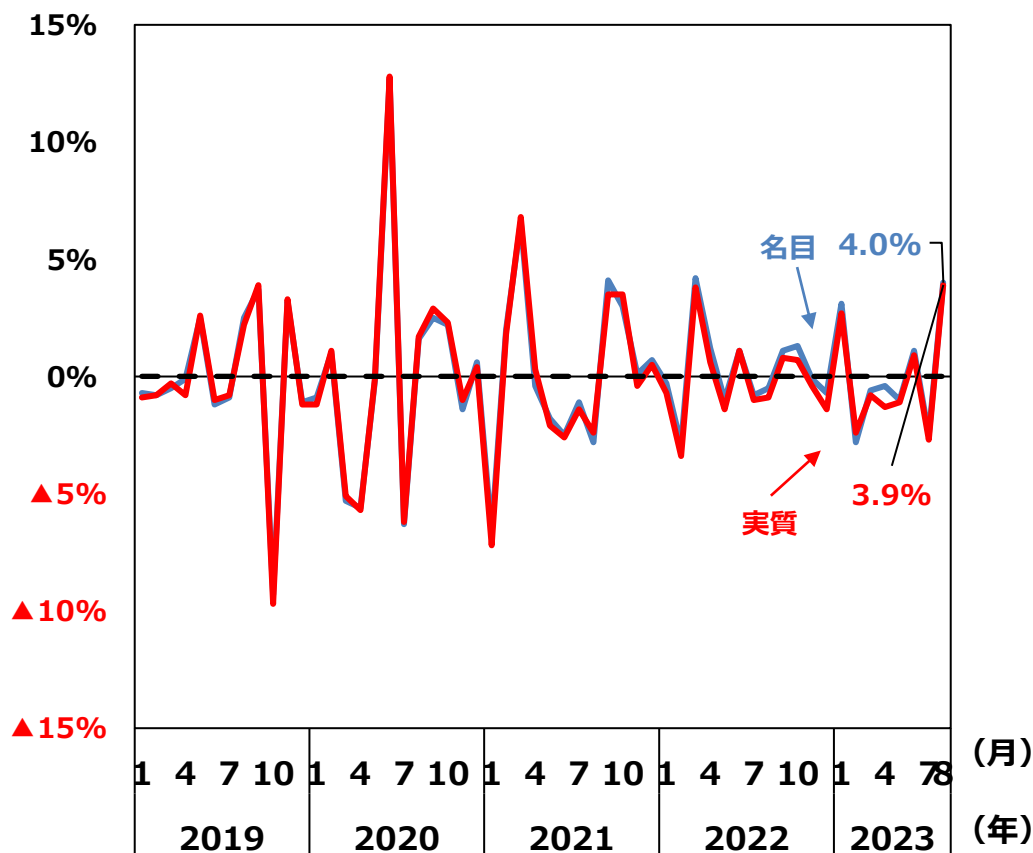
(資料) 経済産業省「商業動態統計」2023年10月16日公表 (確報値)

消費②

- 23年8月の実質家計消費支出は前月比+3.9%と、2か月ぶりのプラス（前年同月比は▲2.5%と6か月連続のマイナス）。なお、名目家計消費支出は前月比+4.0%（前年同月比は+1.1%）。
- 消費者マインドは、改善に向けた動きに足踏みがみられる。

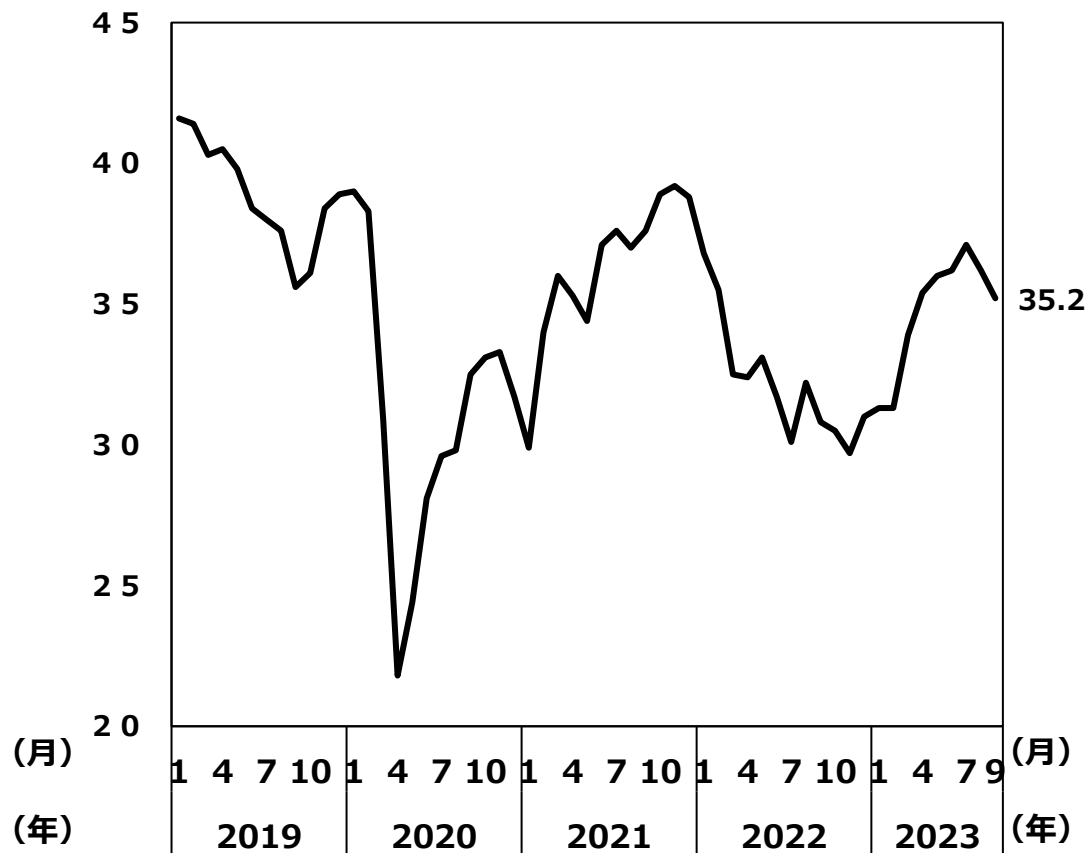
家計消費支出の推移

(前月比)



(注) 二人以上の世帯、季節調整値。
(資料) 総務省「家計調査」2023年10月6日公表

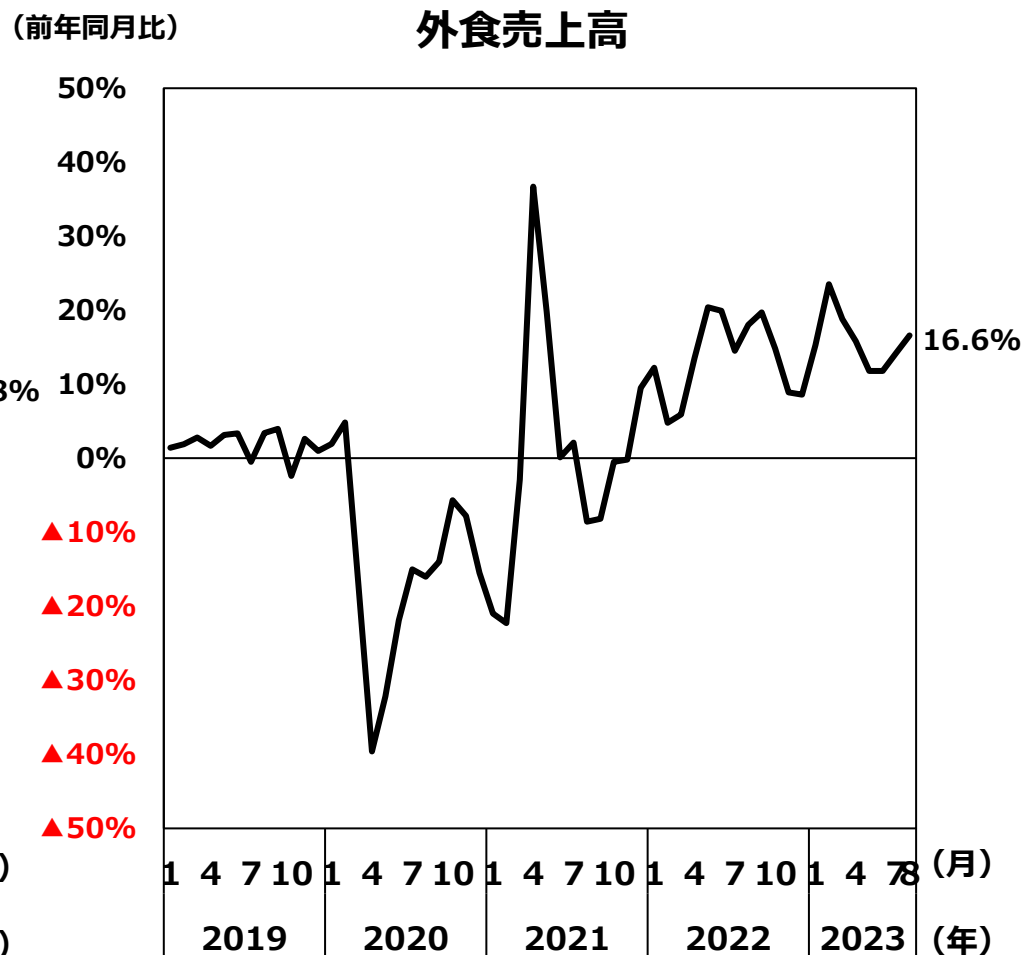
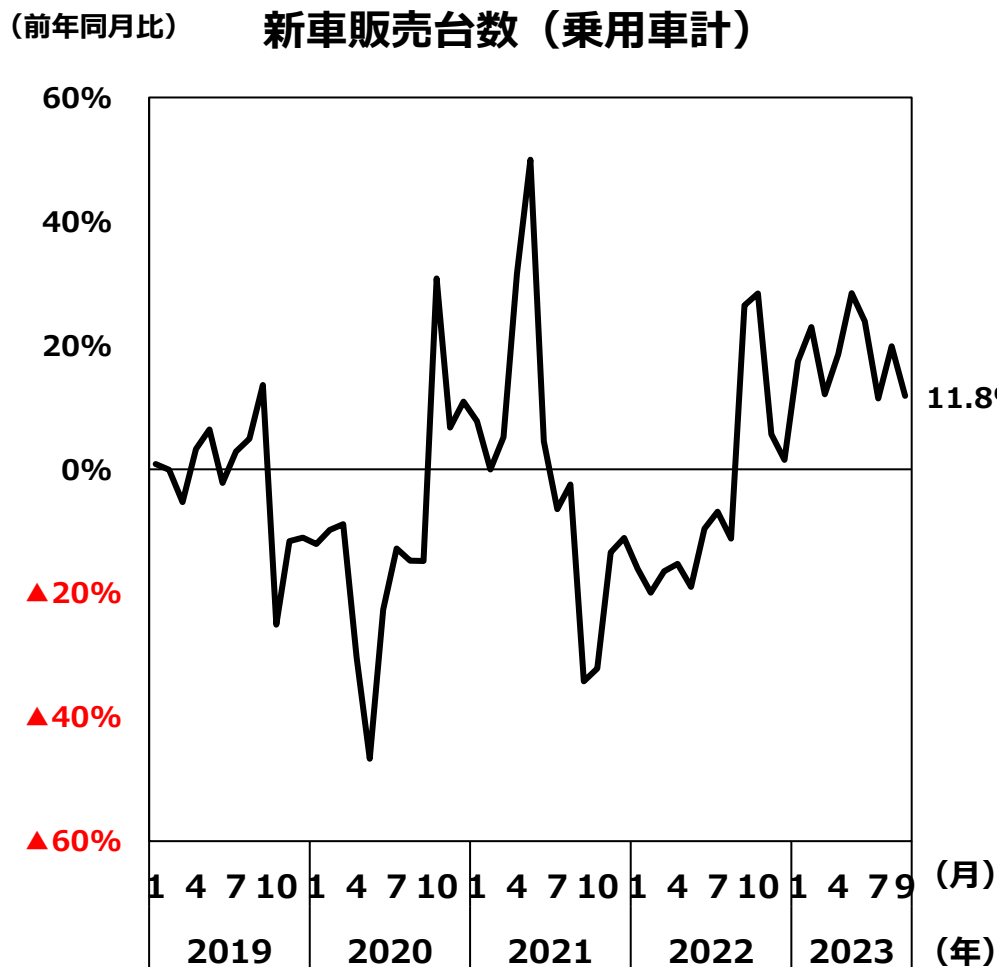
消費者態度指数



(注) 二人以上の世帯、季節調整値。
(資料) 内閣府「消費動向調査」2023年9月29日公表

消費③

- 23年9月の新車販売台数は36.3万台。前年同月比は+11.8%と13か月連続のプラス。
- 23年8月の外食売上高は前年同月比+16.6%のプラス。



(資料) 日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」2023年10月2日公表
 全国軽自動車協会連合会「軽四輪車 新車販売台数」2023年10月2日公表

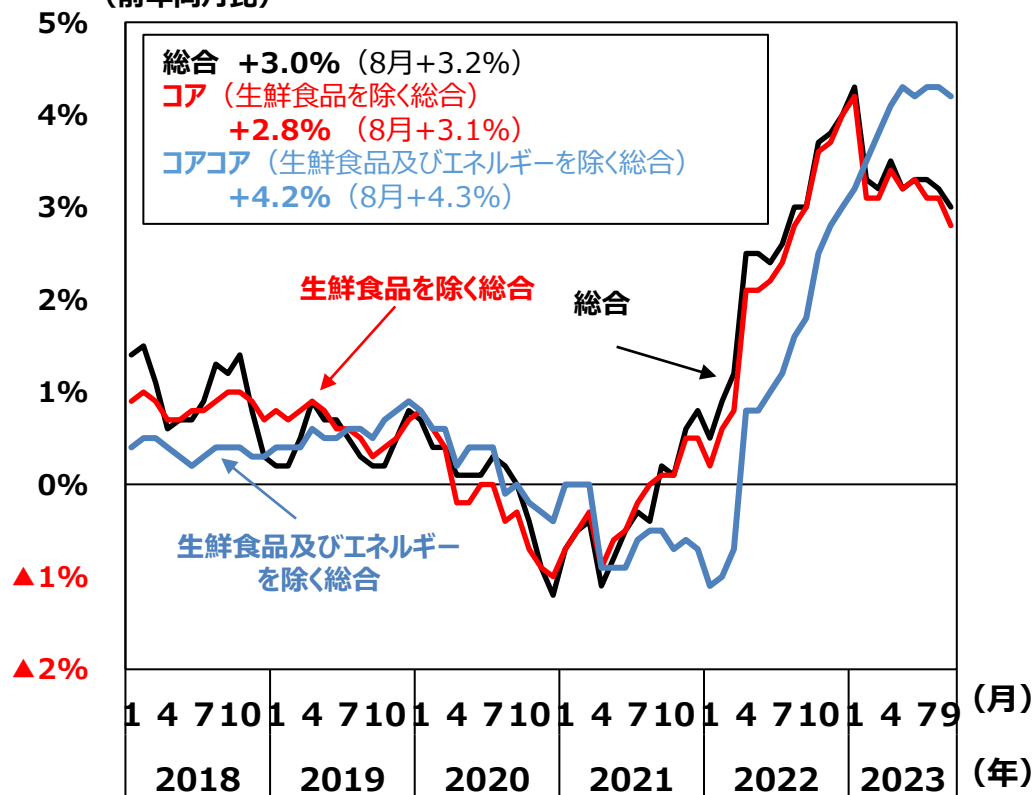
(資料) 日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」2023年9月25日公表

物価①

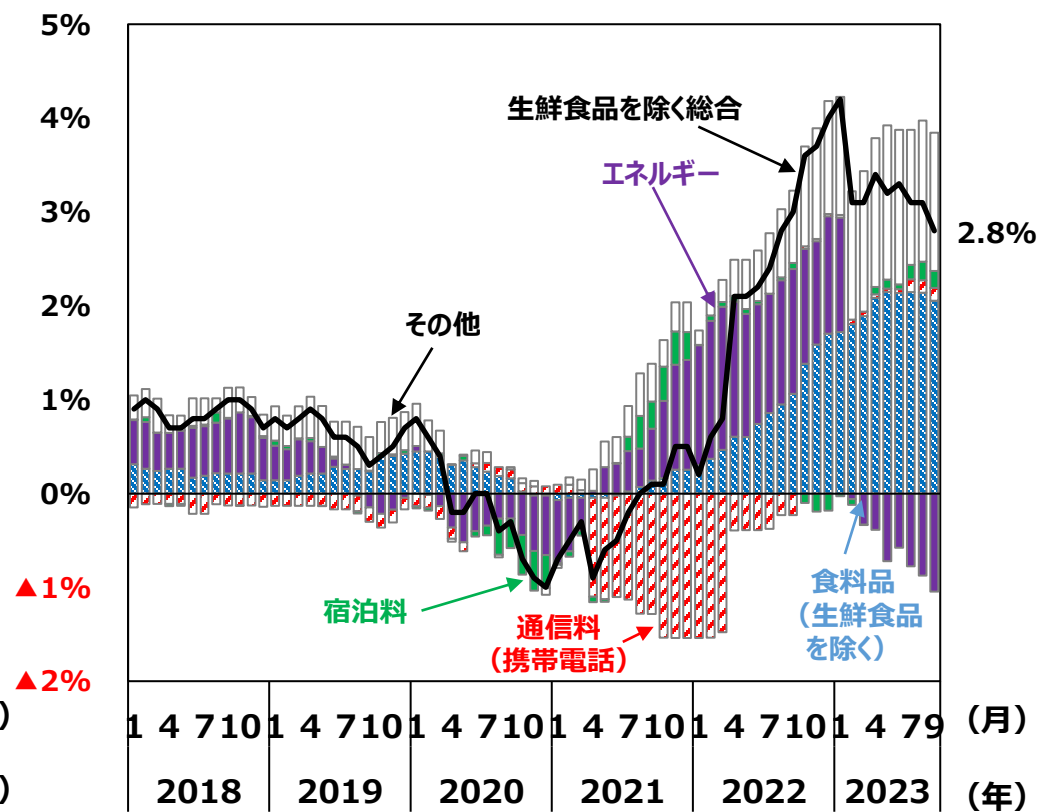
- 23年9月の消費者物価指数（総合）は前年同月比+3.0%、生鮮食品を除く総合（コア）は同+2.8%、生鮮食品及びエネルギーを除く総合（コアコア）は同+4.2%となった。

消費者物価指数の推移

(前年同月比)



(前年同月比) 生鮮食品を除く総合の寄与度分解



(資料) 総務省「消費者物価指数」2023年10月20日公表

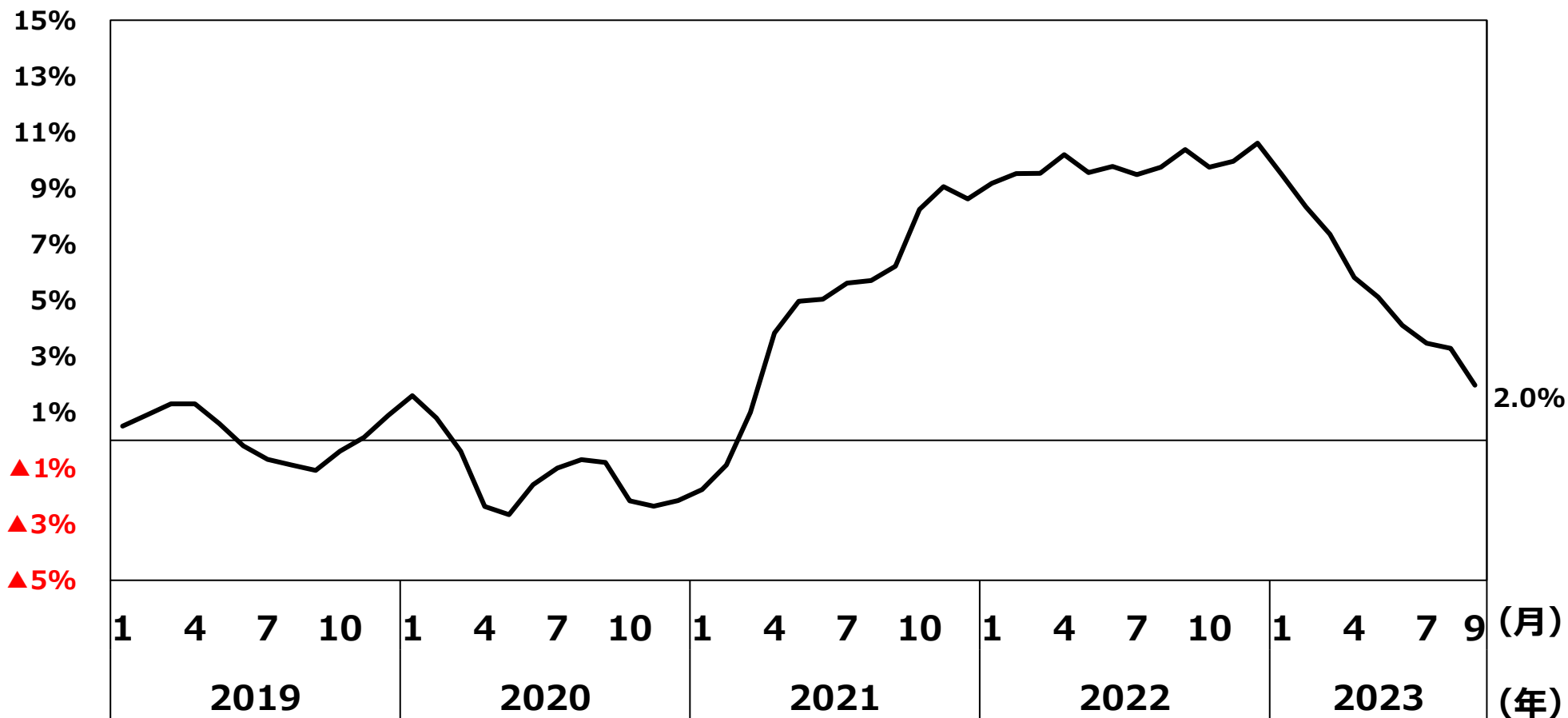
(資料) 総務省「消費者物価指数」2023年10月20日公表

物価②

- 23年9月の国内企業物価指数は前年同月比+2.0%（23年8月：同+3.3%）と、資源高などの一服により伸びが鈍化傾向。

国内企業物価指数の推移

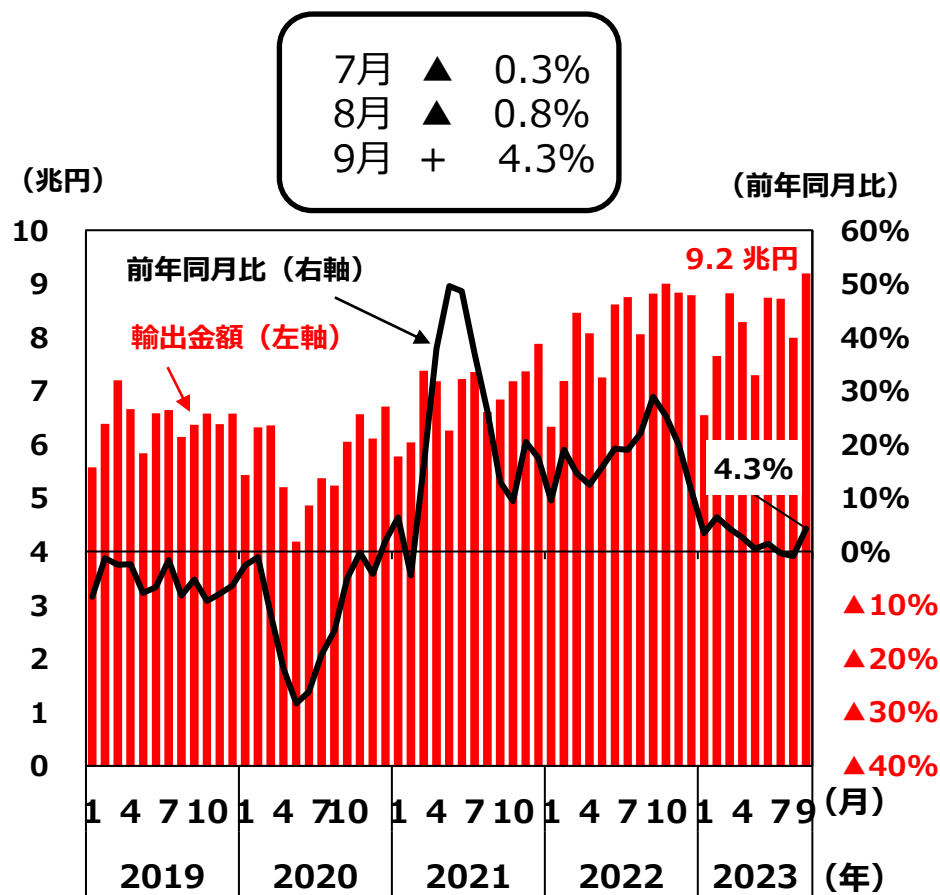
(前年同月比)



輸出

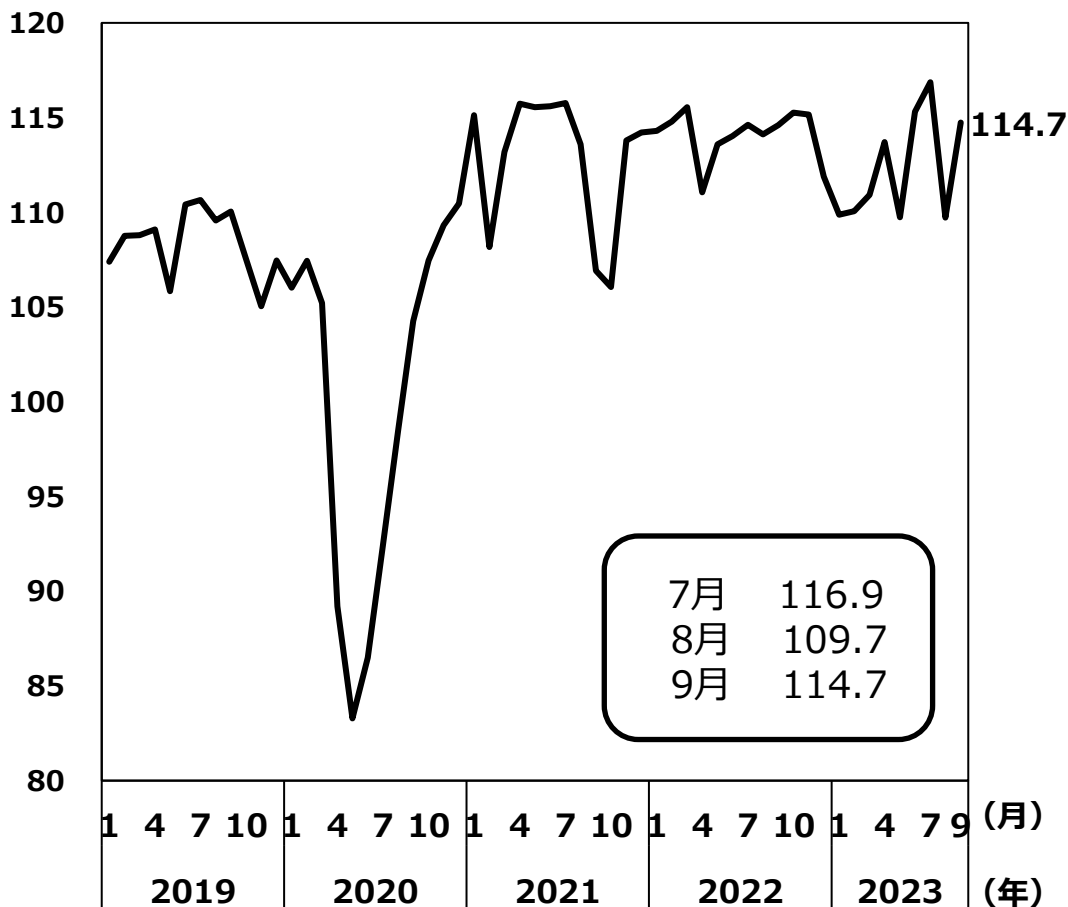
- 23年9月の輸出金額（9.2兆円）は前年同月比+4.3%と3ヶ月ぶりの増加。
- 実質輸出は前月比+4.6%と2ヶ月ぶりの増加。

輸出金額の推移（原数値）



(資料) 財務省「貿易統計」2023年10月19日公表 (速報値)

(2020年=100) 実質輸出の推移（季節調整値）



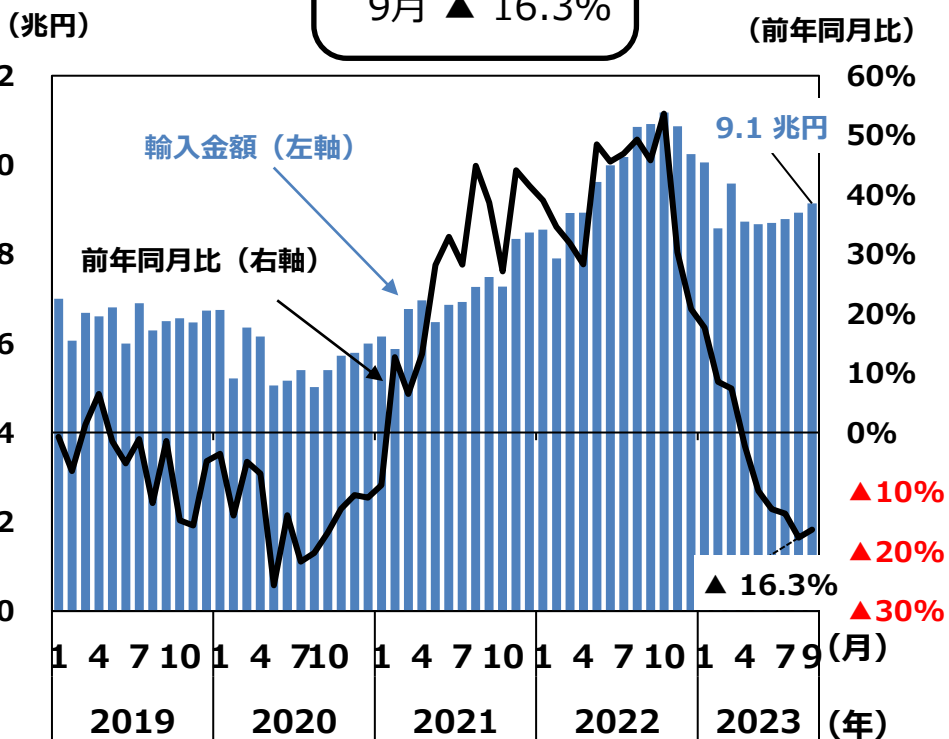
(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2023年10月19日公表

輸入

- 23年9月の輸入金額（9.1兆円）は前年同月比▲16.3%と6ヶ月連続の減少。
- 実質輸入は前月比+2.5%と2ヶ月ぶりの増加。

輸入金額の推移（原数値）

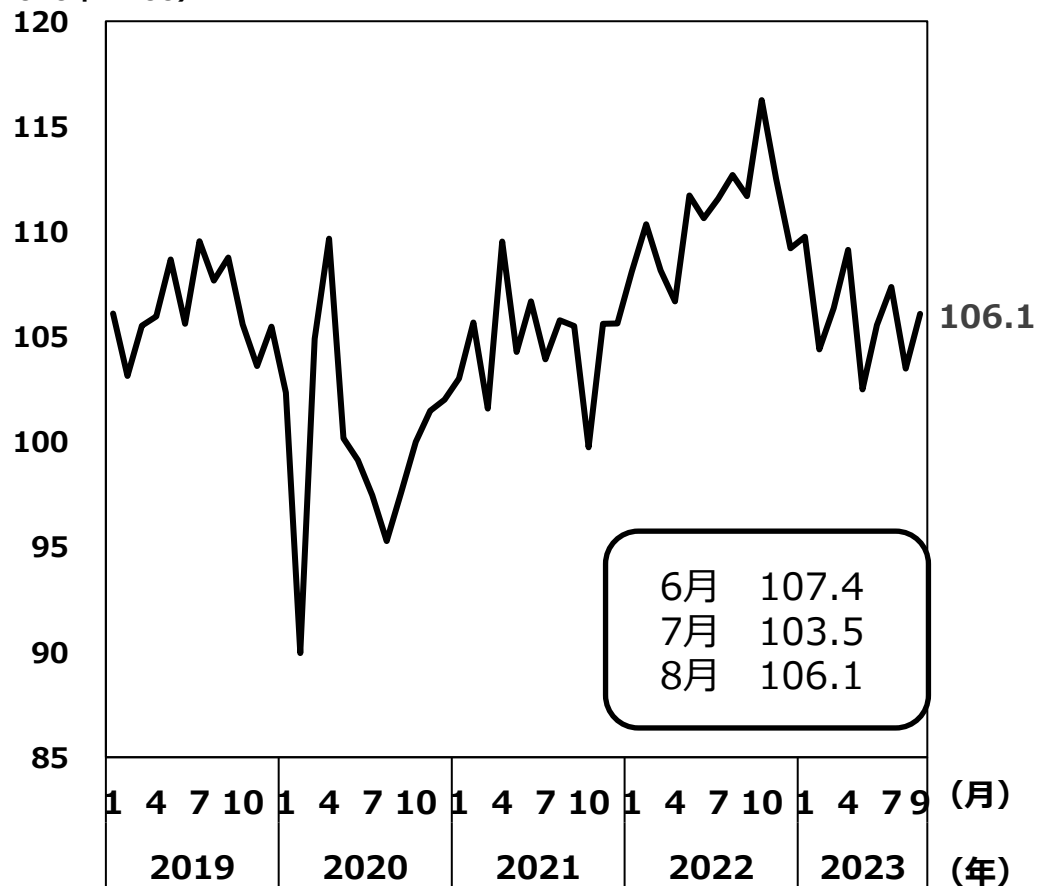
7月 ▲ 13.6%
8月 ▲ 17.7%
9月 ▲ 16.3%



(資料) 財務省「貿易統計」2023年10月19日公表（速報値）

実質輸入の推移（季節調整値）

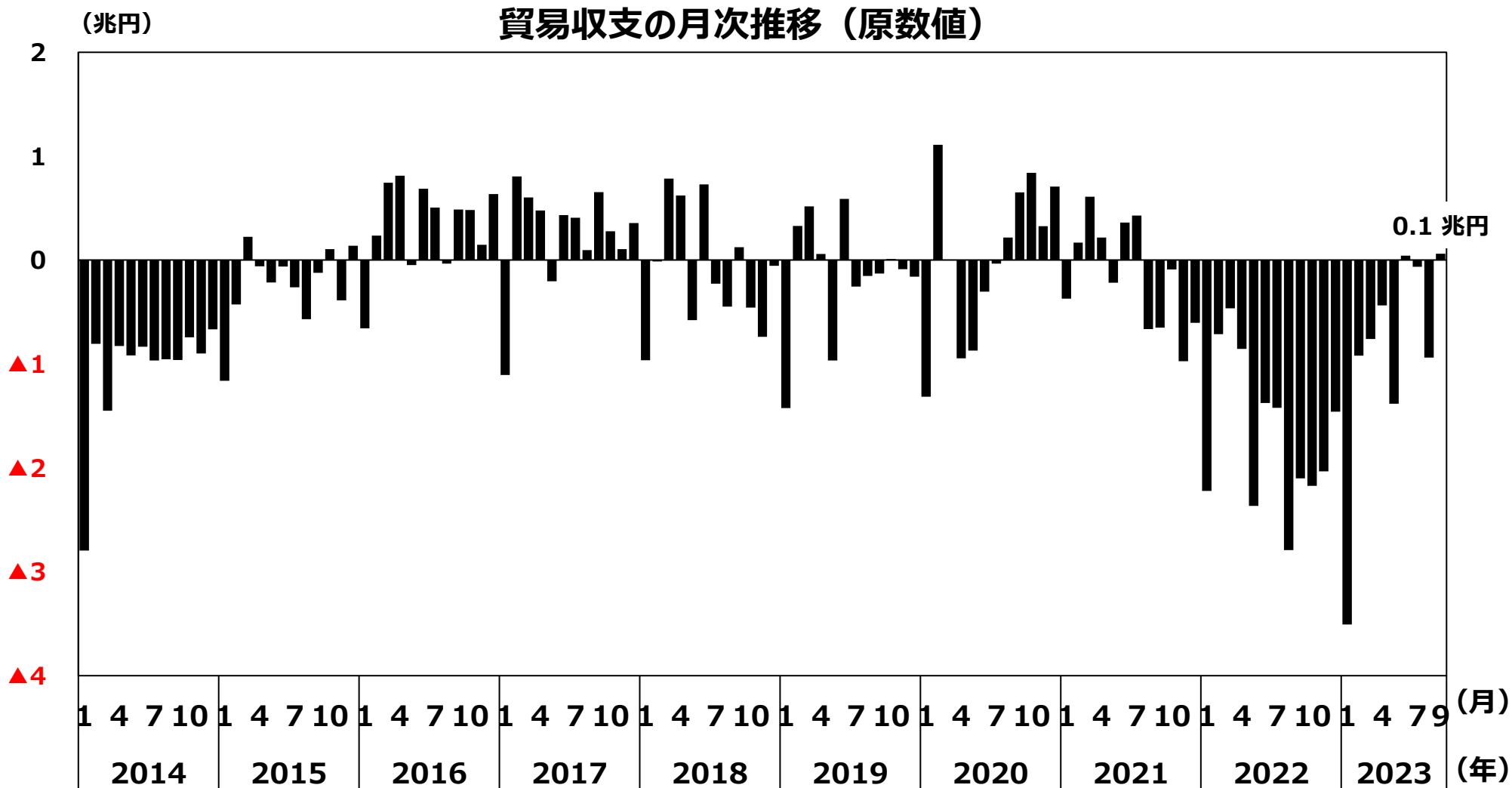
(2020年=100)



(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2023年10月19日公表

貿易収支

- 23年9月の貿易収支は、+0.1兆円と3ヶ月ぶりの黒字。



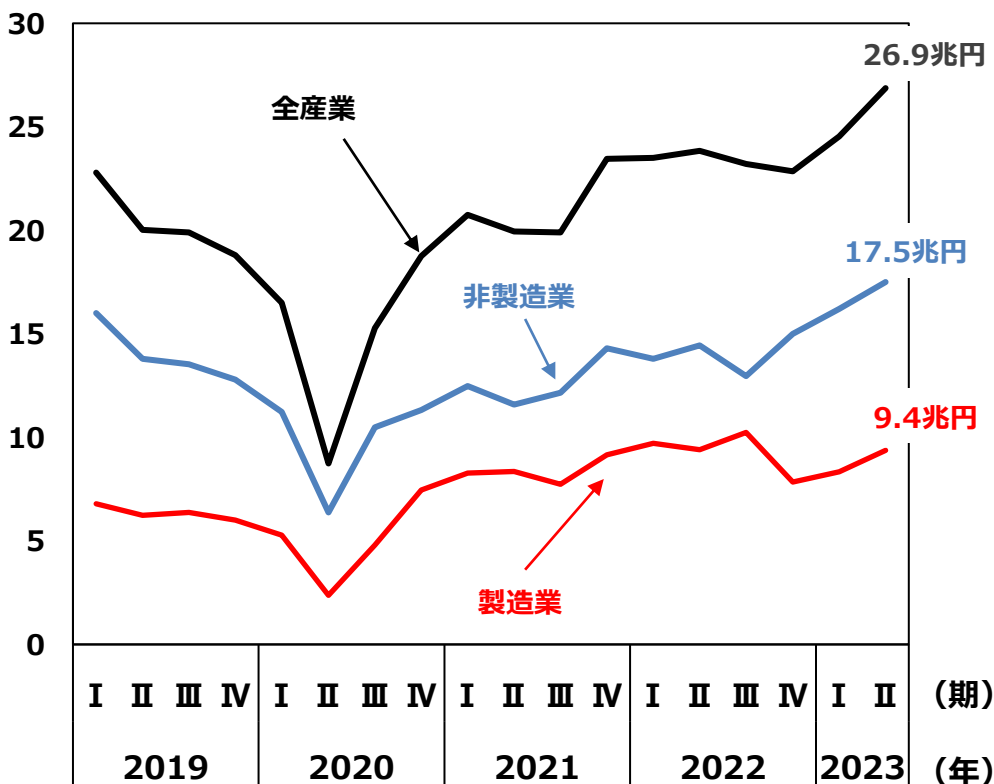
(資料) 財務省「貿易統計」2023年10月19日公表 (速報値)

企業収益 業況判断

- 23年4-6月期の経常利益は、全規模全産業で26.9兆円(前期比+9.5%)と2四半期連続の増益。製造業は同+12.5%と2四半期連続の増益となり、非製造業は同+8.0%と3四半期連続の増益となった。
- 9月調査時点の業況は、大企業製造業・非製造業は改善、中小企業製造業は横ばい、中小企業非製造業は小幅に改善となった。先行きは、いずれの規模においても製造業では改善が見込まれる一方で、非製造業では悪化が見込まれる。

経常利益

(兆円)

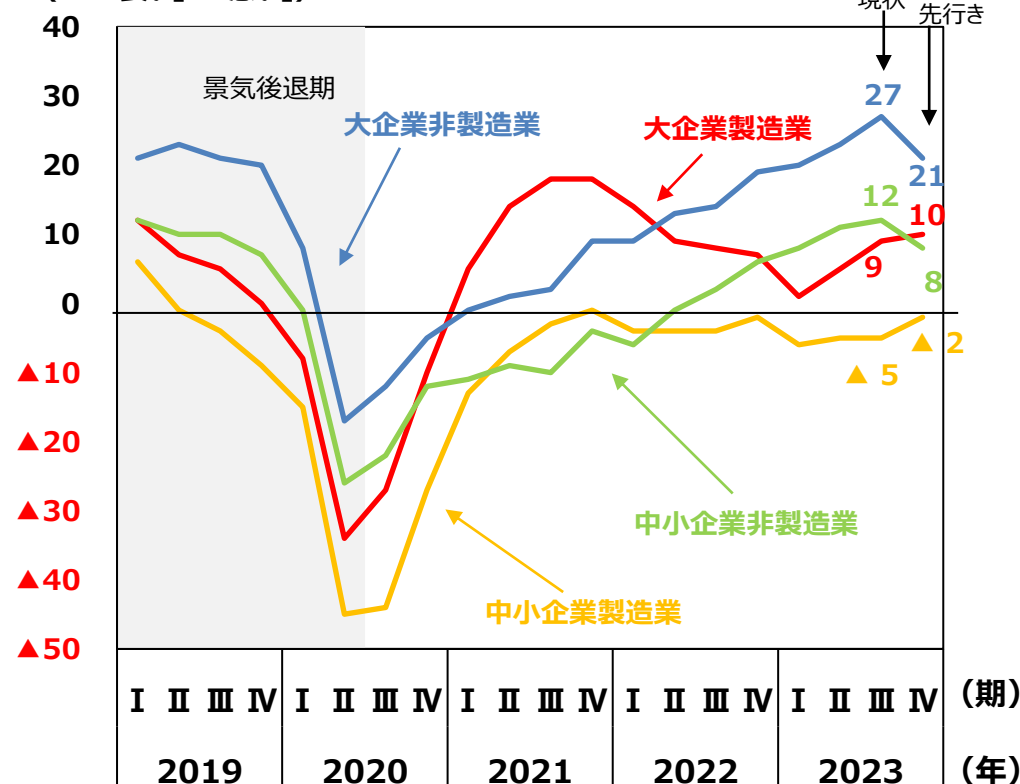


(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く。

(資料) 財務省「法人企業統計季報」2023年9月1日公表

企業の業況判断DI

(DI:「良い」-「悪い」)

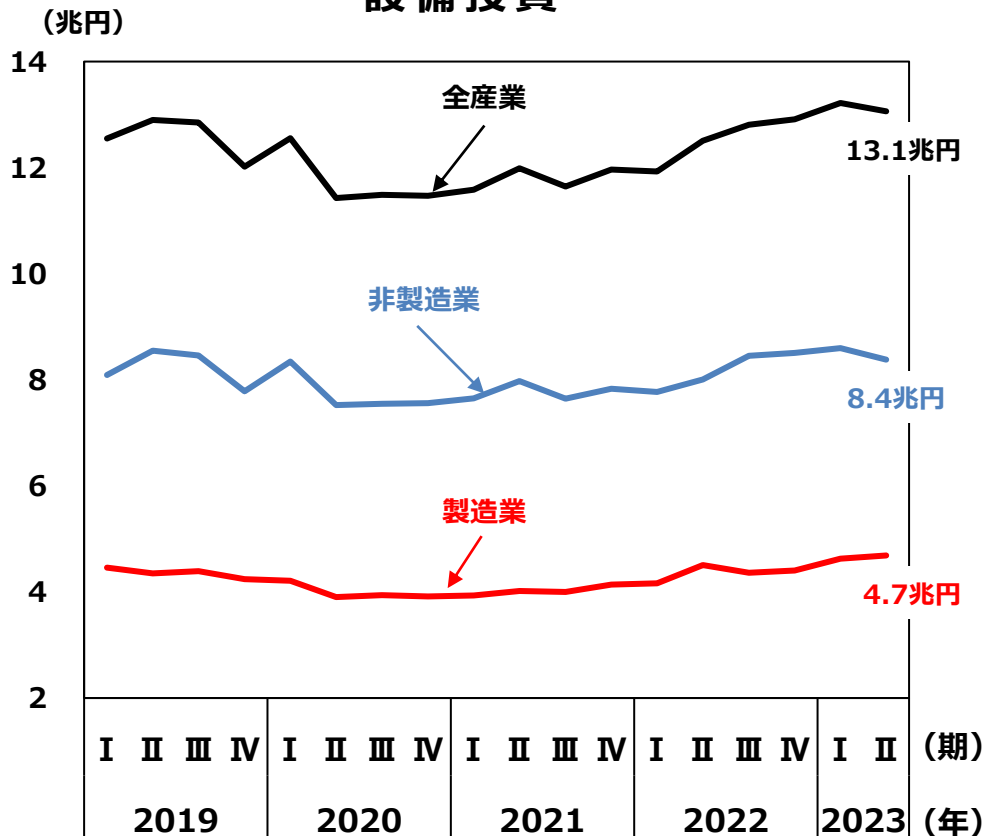


(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2023年10月2日公表

設備投資

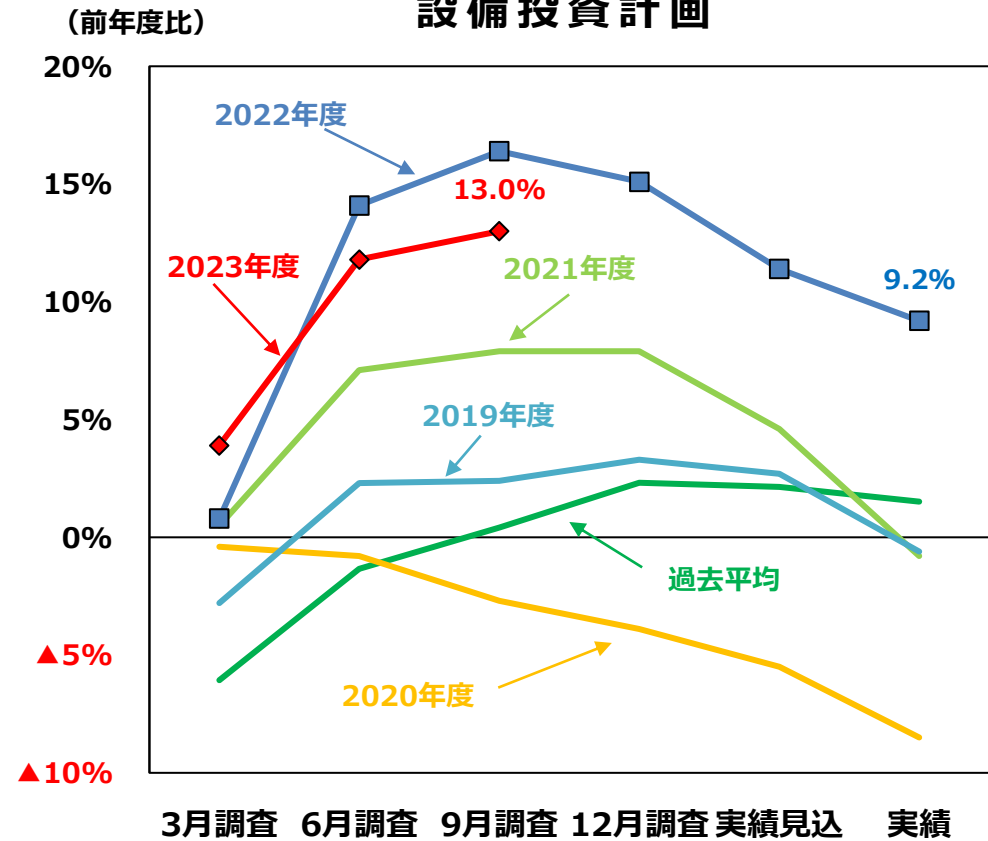
- 23年4-6月期の設備投資は、全規模全産業で13.1兆円（前期比▲1.2%）と、5四半期ぶりの減少。製造業は同+1.2%と3四半期連続の増加となり、非製造業は同▲2.5%と5四半期ぶりの減少となった。
- 9月調査時点の2023年度設備投資計画は全規模全産業で前年度比+13.0%と、前回調査（同+11.8%）から上方修正。

設備投資



(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く、ソフトウェアを含む。
 (資料) 財務省「法人企業統計季報」2023年9月1日公表

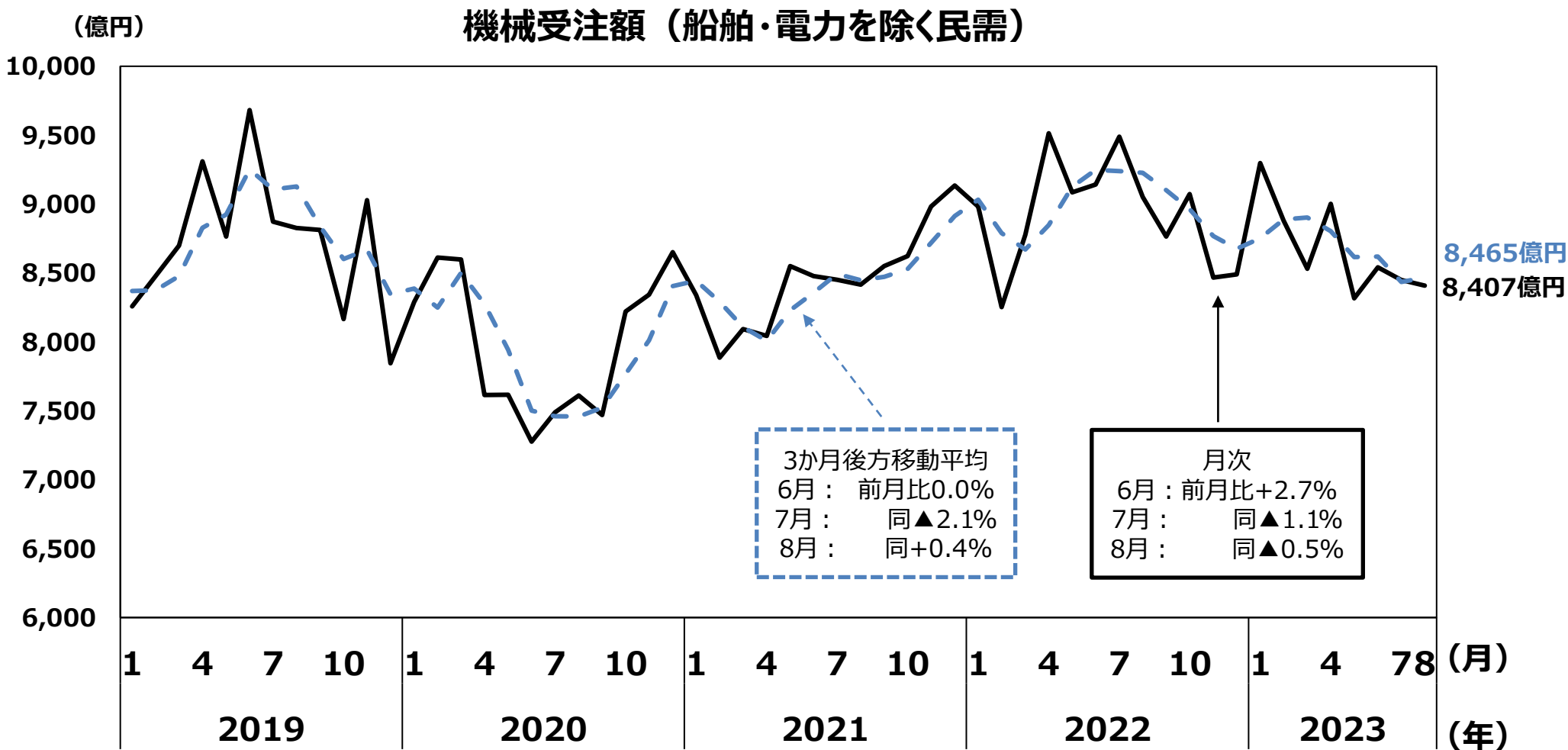
設備投資計画



(注) 「過去平均」は、1982年度～2018年度の平均値。
 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額・研究開発投資額を含まない。
 (資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2023年10月2日公表

機械受注

- 8月の機械受注額(船舶・電力を除く民需)は、8,407億円（前月比▲0.5%）と、2か月連続の減少。
- 基調判断は、「足踏みがみられる」と前月から据え置き。

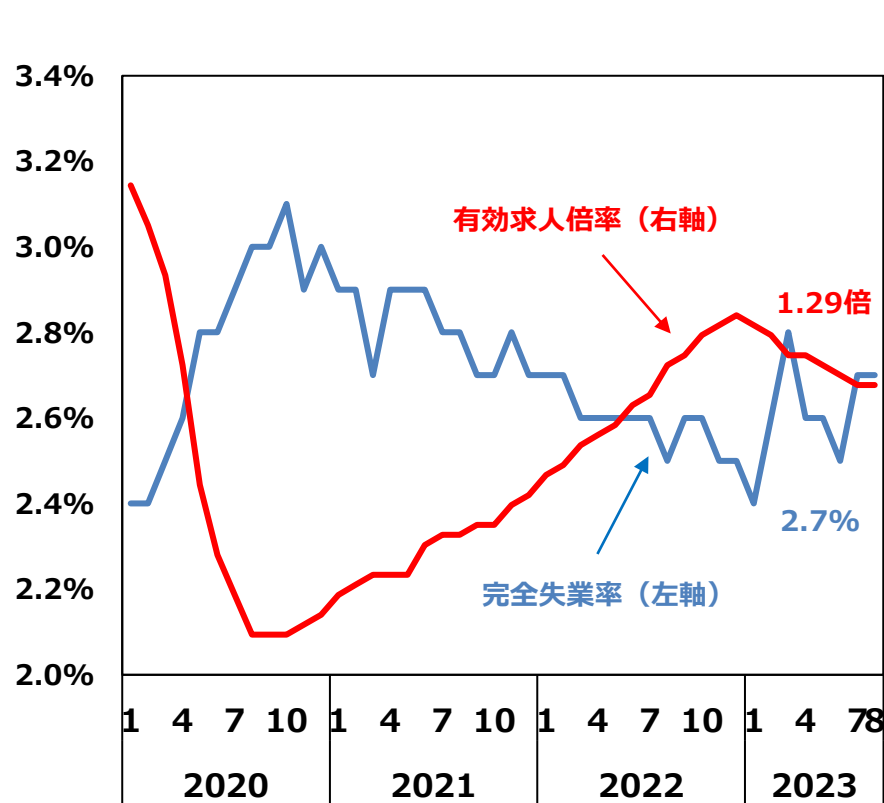


(資料) 内閣府「機械受注統計」2023年10月12日公表

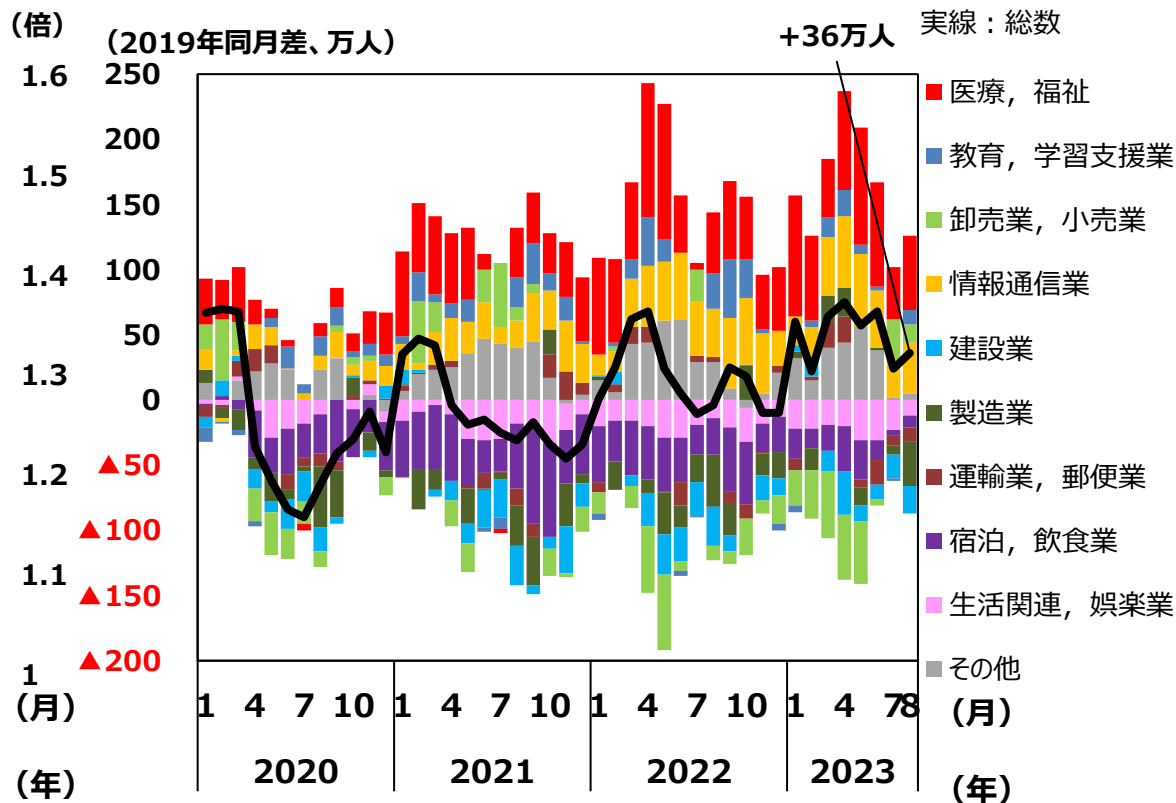
雇用

- 23年8月の完全失業率は2.7%と前月から横ばい。有効求人倍率は1.29倍と前月から横ばい。
- 23年8月の雇用者数は、19年同月差で+36万人。産業別では、情報通信業、卸売業、小売業、医療、福祉等がコロナ前との比較で増加。

失業率・有効求人倍率



雇用者数の増減 (産業別)



(注) 季節調整値

(資料) 総務省「労働力調査」2023年9月29日公表

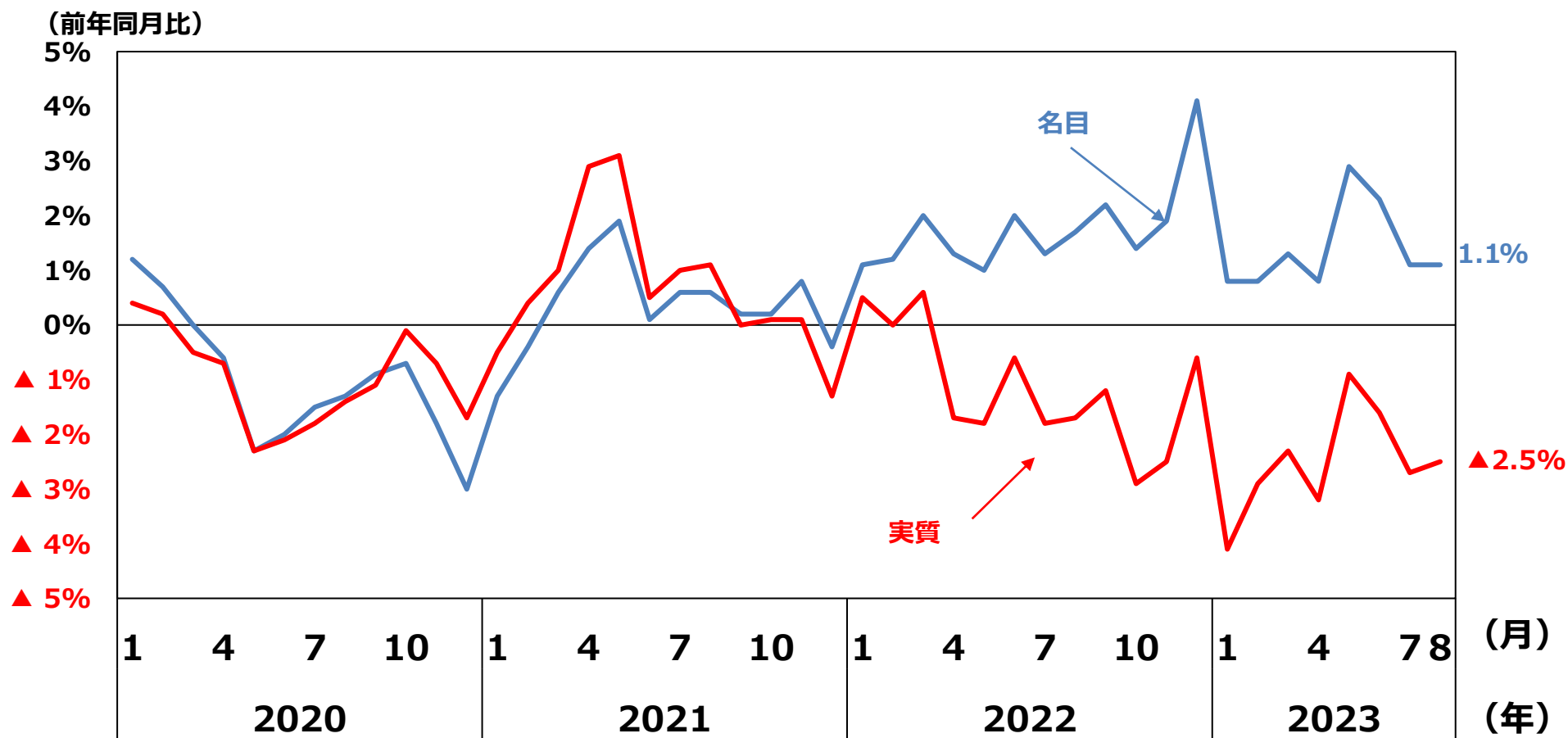
厚生労働省「一般職業紹介状況」2023年9月29日公表

(資料) 総務省「労働力調査」2023年9月29日公表

賃金

- 23年8月の名目賃金は前年同月比+1.1%、実質賃金は同▲2.5%。
- 名目賃金は20ヶ月連続のプラス。「所定内給与」が前月から上昇率が加速したものの、ボーナスを含む「特別給与」が減少したことから、全体としては前月から伸び率は同じとなった。実質賃金は、減少幅が縮小したものの、名目賃金の伸びが物価上昇に追いついていない状況が続いており、17ヶ月連続のマイナスとなった。

名目賃金と実質賃金（現金給与総額）



日本經濟

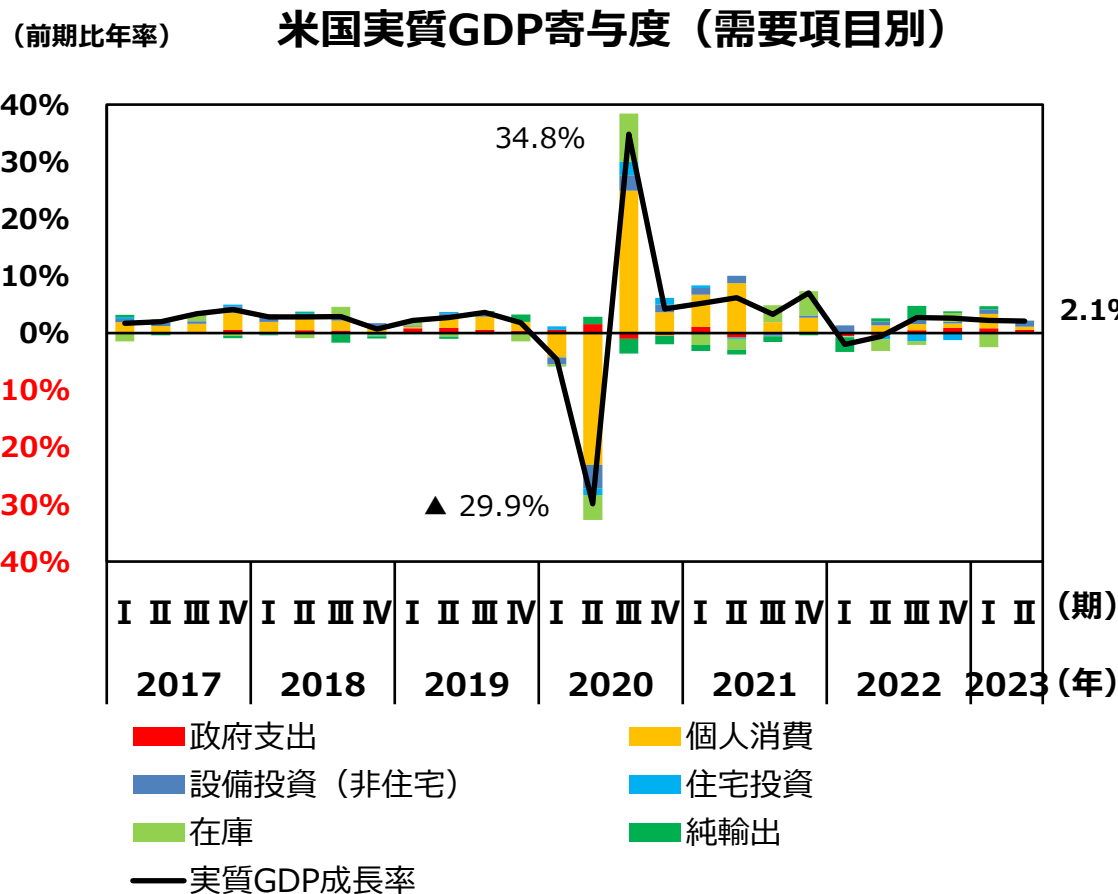
美国經濟

中国經濟

欧州經濟

米国 GDP

- 23年4-6月期実質GDP成長率（最終推計）は、前期比年率+2.1%と4四半期連続のプラス成長となった。設備投資や在庫投資がプラスに寄与した。



(注) 季節調整値
 (資料) 米商務省「GDP統計」2023年9月28日公表（最終推計値）

需要項目別・成長率 (前期比年率)

	1-3月期	4-6月期 確報	増減
実質GDP	2.2	2.1	▲ 0.1
個人消費	3.8	0.8	▲ 3.0
設備投資	5.7	7.4	▲ 1.7
住宅投資	▲ 5.3	▲ 2.2	3.1
輸出	6.8	▲ 9.3	▲ 16.1
輸入	1.3	▲ 7.6	▲ 8.9
政府支出	4.8	3.3	▲ 1.5

(資料) 米商務省「GDP統計」2023年9月29日公表

需要項目別・寄与度 (前期比年率)

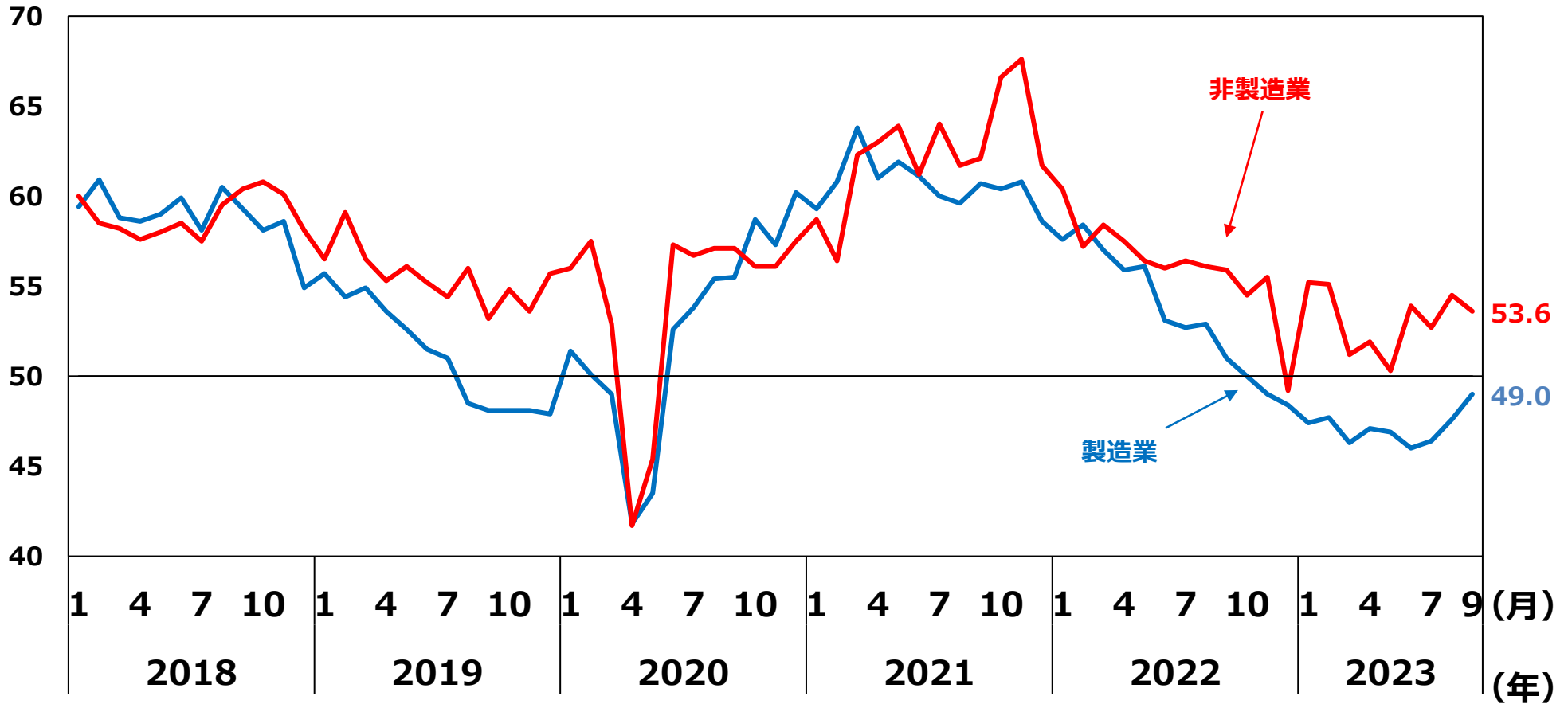
	1-3月期	4-6月期 確報	増減
実質GDP	2.2	2.1	▲ 0.1
個人消費	2.5	0.6	▲ 2.0
設備投資	0.8	1.0	0.2
住宅投資	▲ 0.2	▲ 0.1	0.1
在庫投資	▲ 2.2	0.0	2.2
輸出	0.8	▲ 1.1	▲ 1.9
輸入	▲ 0.2	1.1	1.3
政府支出	0.8	0.6	▲ 0.3

(資料) 米商務省「GDP統計」2023年9月28日公表

米国 ISM製造業・非製造業景気指数

- 23年9月ISM製造業景気指数（総合）は49.0と、前月（47.6）から上昇した。
- 23年9月ISM非製造業景気指数（総合）は53.6と、前月（54.5）から低下した。

ISM製造業・非製造業景気指数

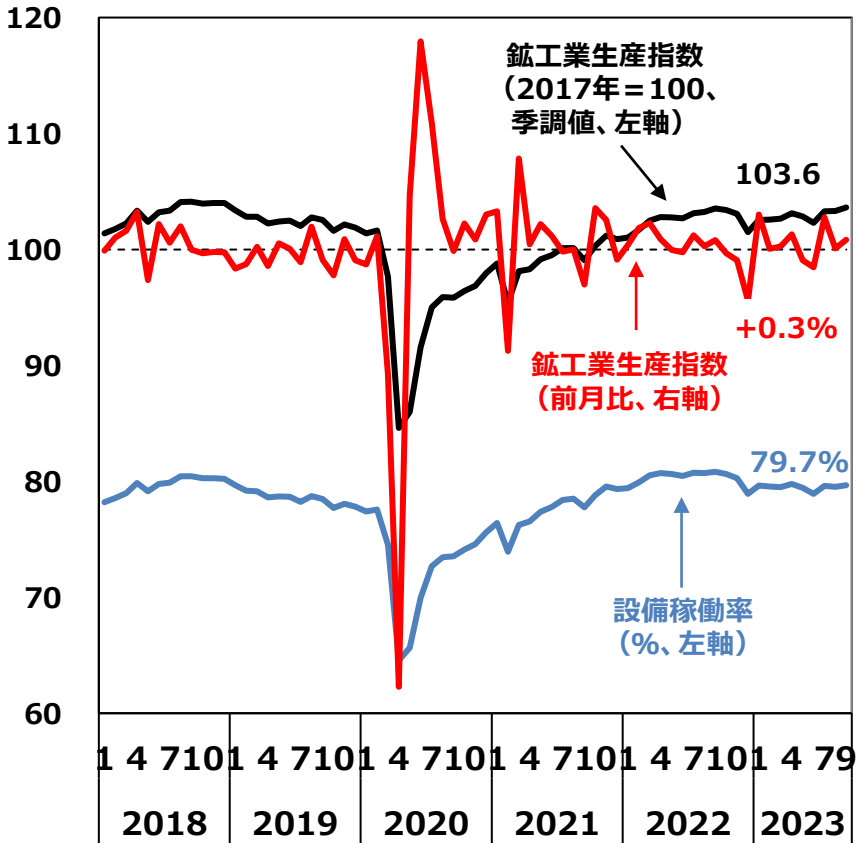


(資料) 米国供給管理協会 (ISM) 製造業：2023年10月2日公表 非製造業：2023年10月4日公表

米国 生産

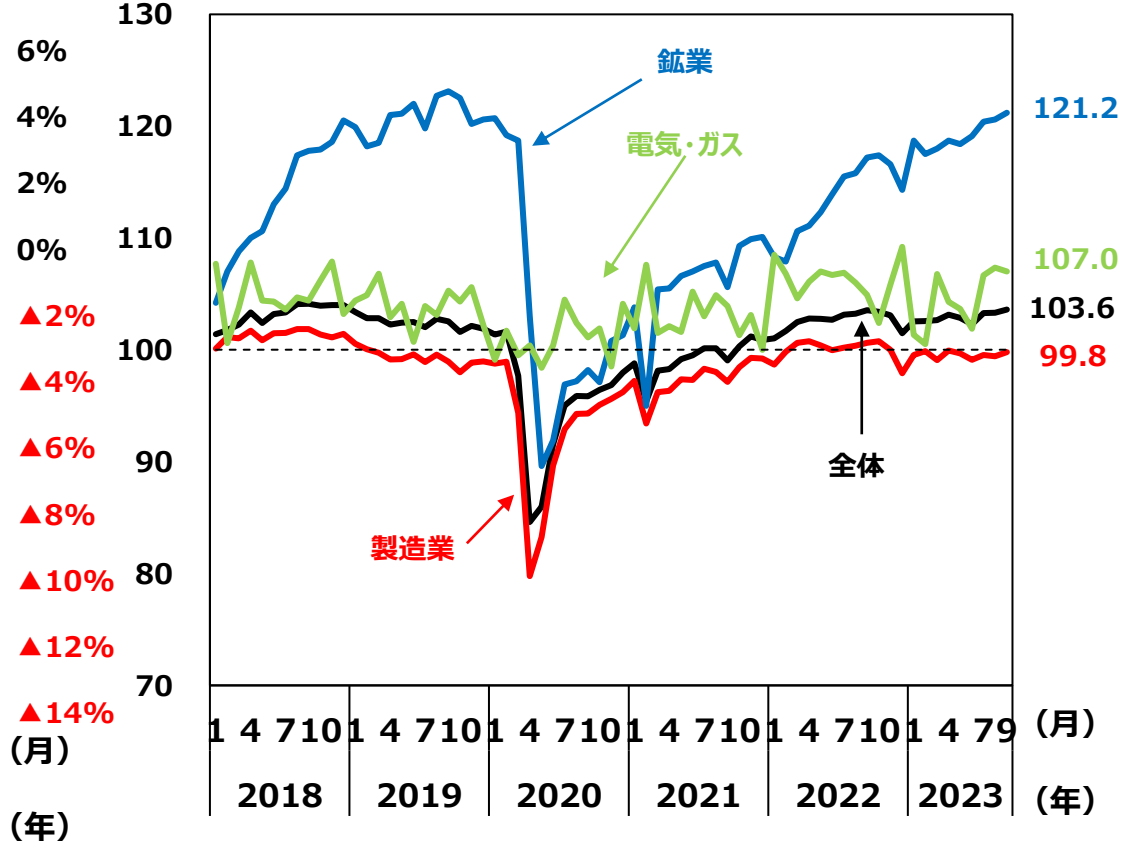
- 9月の鉱工業生産指数は前月比+0.3%（前月：同+0.0%）と増加。
- 内訳をみると、製造業は前月比+0.4%、鉱業は同+0.5%は増加、電気・ガス生産は同▲0.3%と減少した。

鉱工業生産指数と設備稼働率



(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」2023年10月17日公表

(2017年=100) 鉱工業生産指数の内訳

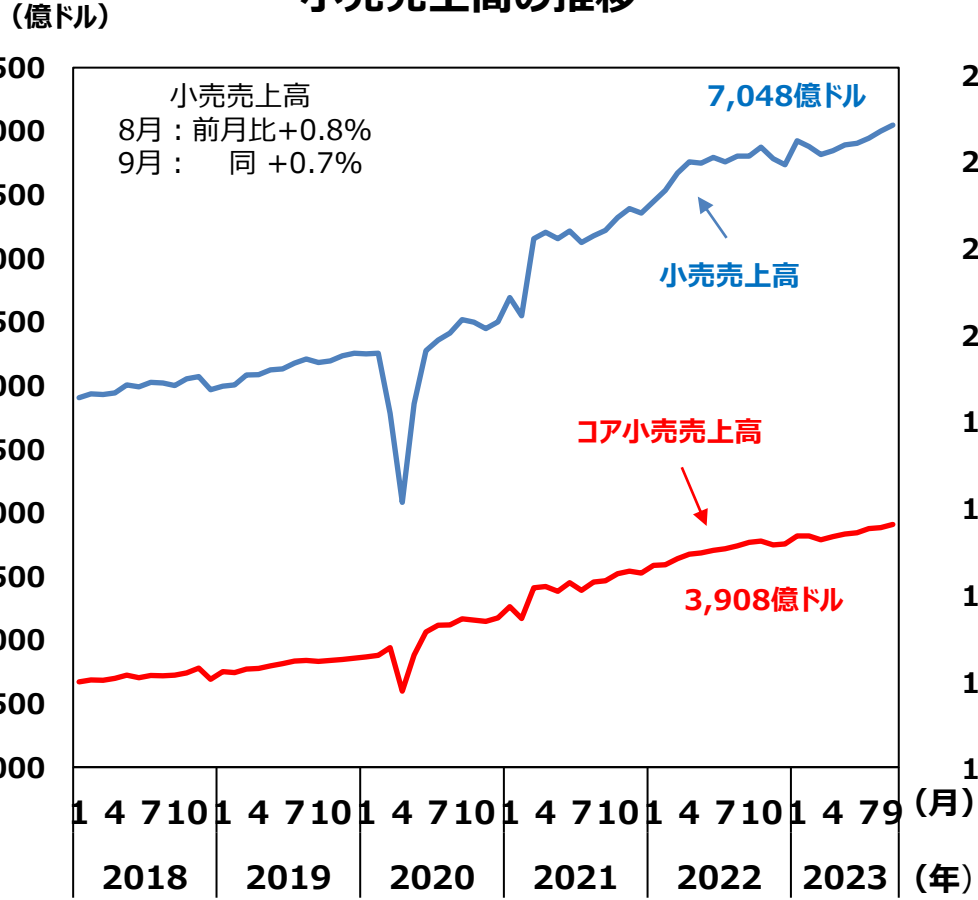


(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」2023年10月17日公表

米国 消費

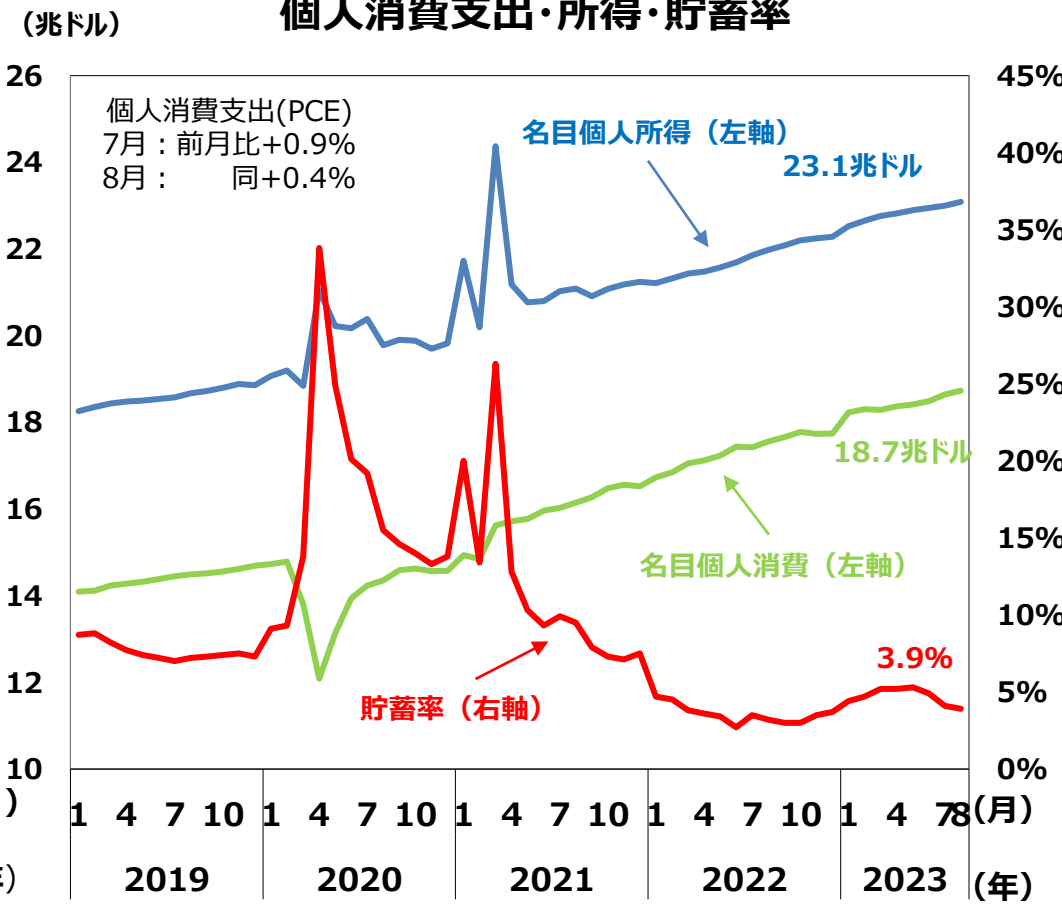
- 23年9月の小売売上高は、前月比+0.7%（前月：同+0.8%）となった。
- 23年8月の個人消費支出（PCE）は、前月比+0.4%（前月：同+0.9%）となった。

小売売上高の推移



(注) 季節調整値。コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリンスタンド、建材、飲食店を除く。
(資料) 米商務省「小売売上高」2023年10月17日公表

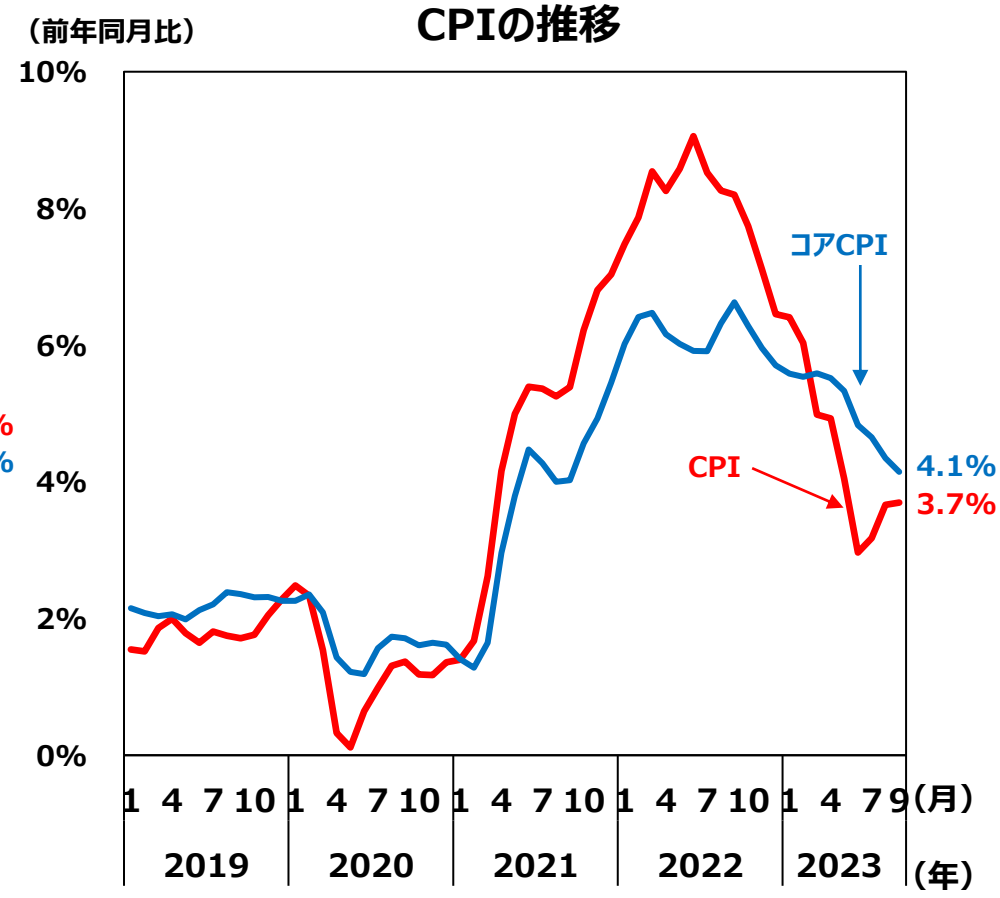
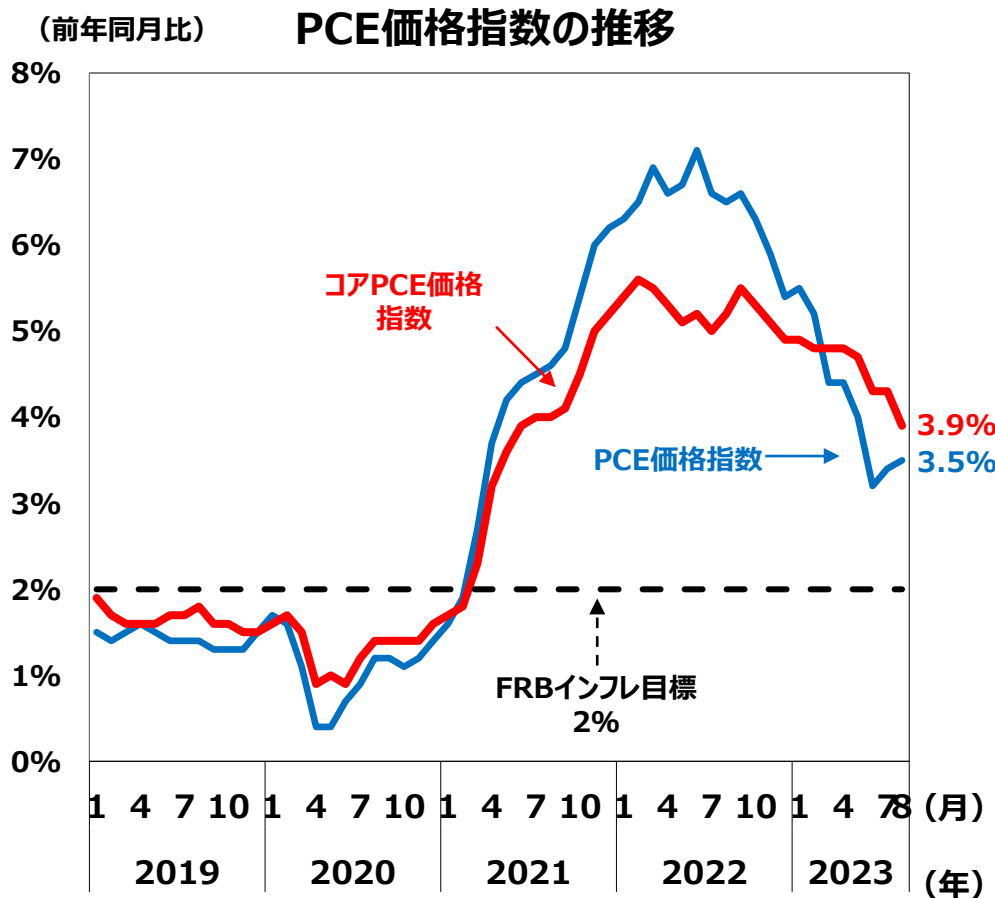
個人消費支出・所得・貯蓄率



(注) 季節調整値
(資料) 米商務省「個人消費・所得」2023年9月29日公表

米国 物価①

- 23年8月のPCE価格指数は、前年同月比+3.5%（前月:同+3.4%）。
- 23年9月の消費者物価指数（CPI）は、前年同月比+3.7%（前月:同+3.7%）。



(注) コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリン、建材、飲食を除く。

(資料) 米商務省「PCE価格指数」2023年9月29日公表

(注) コアは食料、エネルギーを除く。

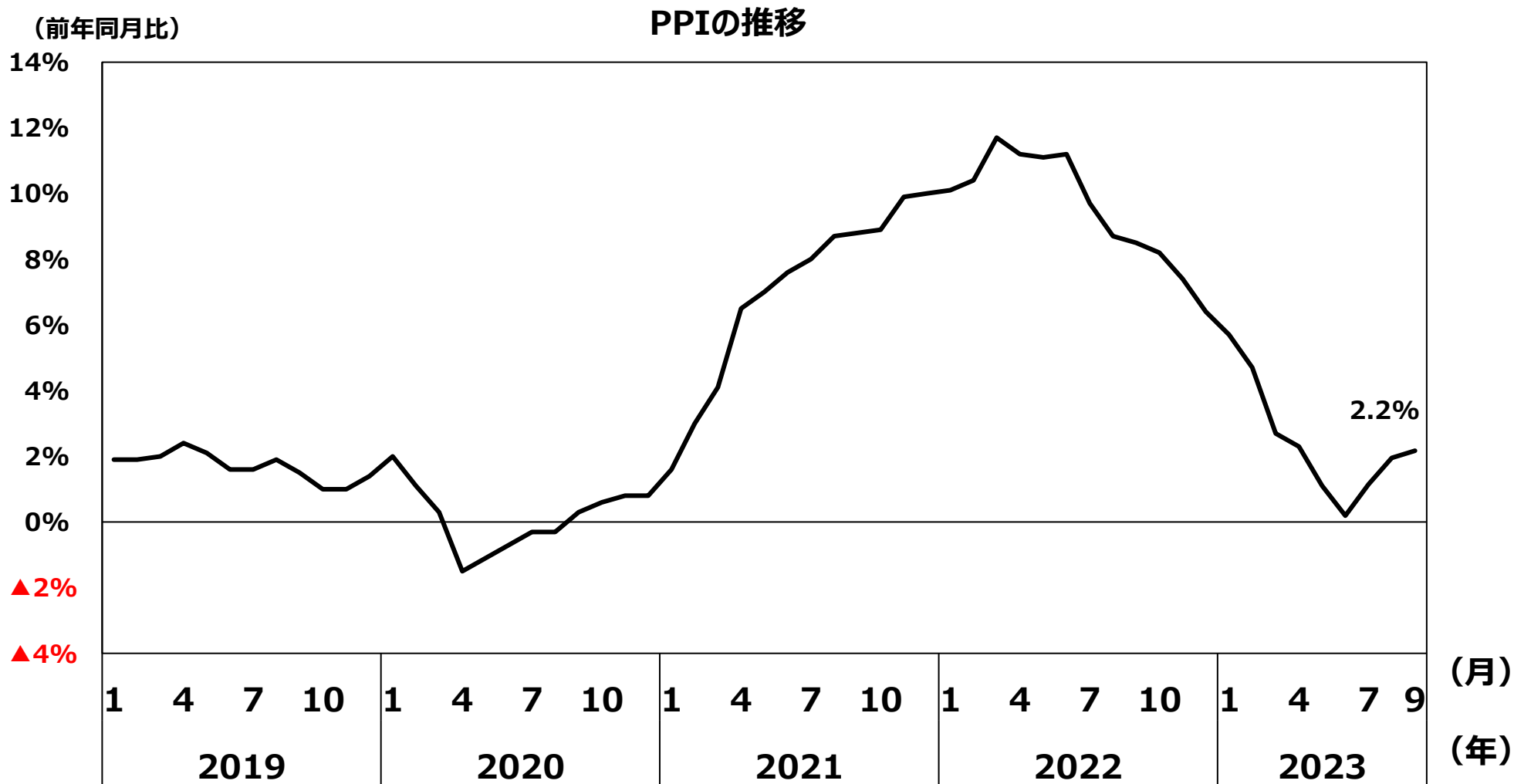
(資料) 米労働省「消費者物価指数（CPI）」2023年10月12日公表

ご参考：CPIと個人消費支出（PCE）価格指数との主な違いは以下のとおり。なお、FRBはPCE価格指数をインフレ指標としている。

①計算方法：CPIはラスパイレズ指数を使用しており、上方バイアスが生じる。これに対し、PCEはフィッシャー指数（ラスパイレズ指数とパーシェ指数の幾何平均）を用いており、バイアスが生じにくい。②対象：CPIは消費者が直接的に支払う消費支出。PCEは保険制度による医療費の負担など間接的な支払いを含む。

米国 物価②

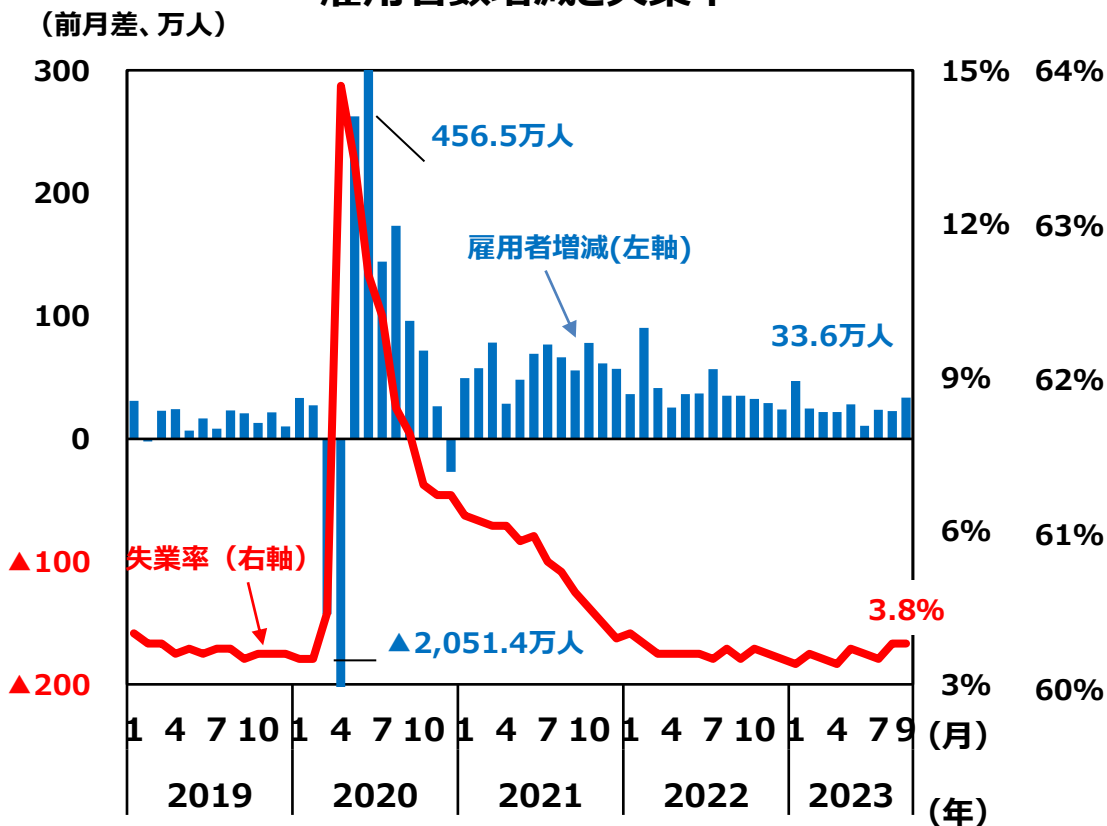
- 23年9月のPPI（卸売物価指数）は前年同月比+2.2%と、前月（同+2.0%）から上昇ペースは加速した。



米国 雇用

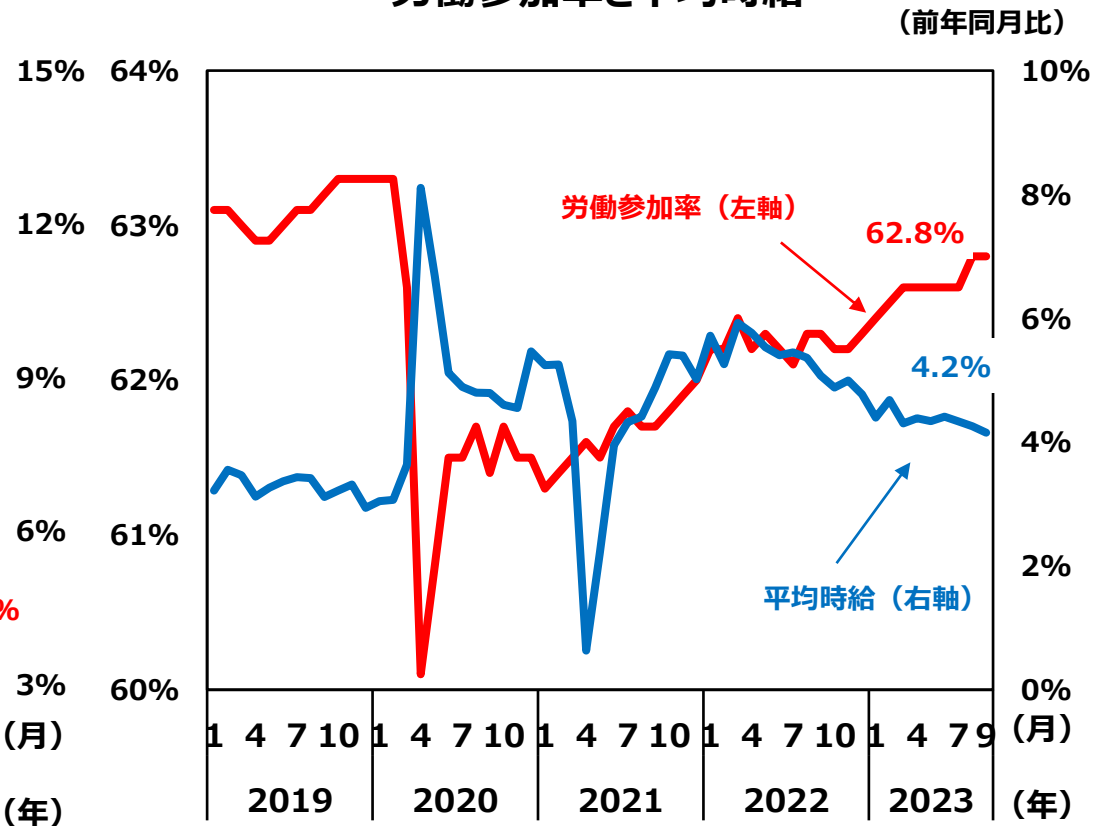
- 23年9月の非農業部門雇用者数は前月差+33.6万人と、前月（同+22.7万人）から増加幅が拡大。
- 失業率は3.8%と、前月（3.8%）から横ばい。
- 平均時給は前年同月比+4.2%となり、労働参加率は62.8%となった。

雇用者数増減と失業率



(注) 季節調整値
(資料) 米労働省 2023年10月6日公表

労働参加率と平均時給



(注) 季節調整値
(資料) 米労働省 2023年10月6日公表

日本經濟

米國經濟

中國經濟

歐洲經濟

中国 GDP

- 2023年7-9月期の実質GDP成長率は、前年同期比+4.9%と前期（+6.3%）から減速した。



(注) 総固定資本形成：住宅投資、設備投資、公共投資などの固定資本の追加分。

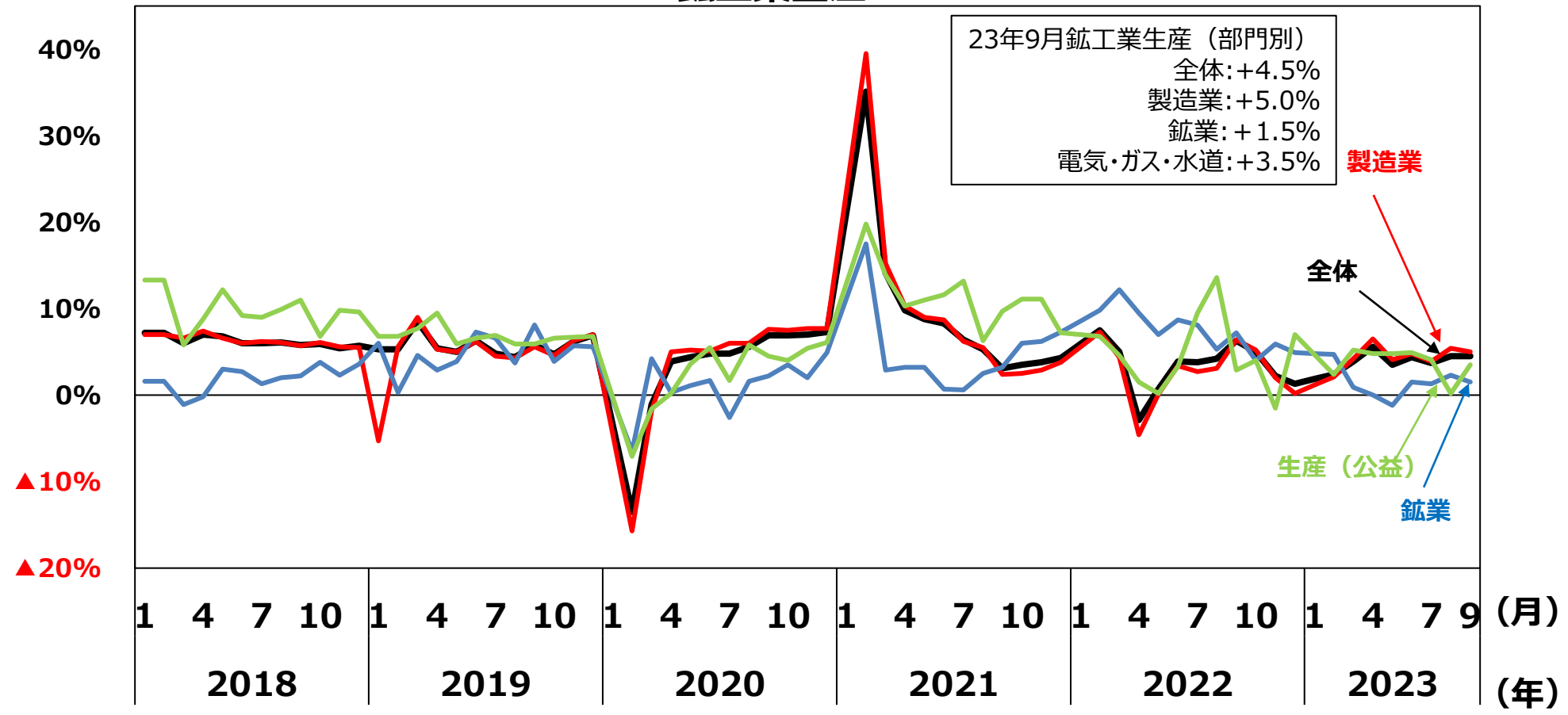
(資料) CEIC(中国国家统计局) 2023年10月18日公表

中国 生産

- 2023年9月の鉱工業生産は、前年同期比+4.5%と前月（同+4.5%）横ばい。
- 製造業の生産は、前年同期比+5.0%（前月：同+5.4%）、鉱業は同+1.5%（前月：同+2.3%）と伸びが鈍化するも、電気・ガス・水道は同+3.5%（前月：同+0.2%）と、伸びが大幅に加速した。

(前年同月比)

鉱工業生産



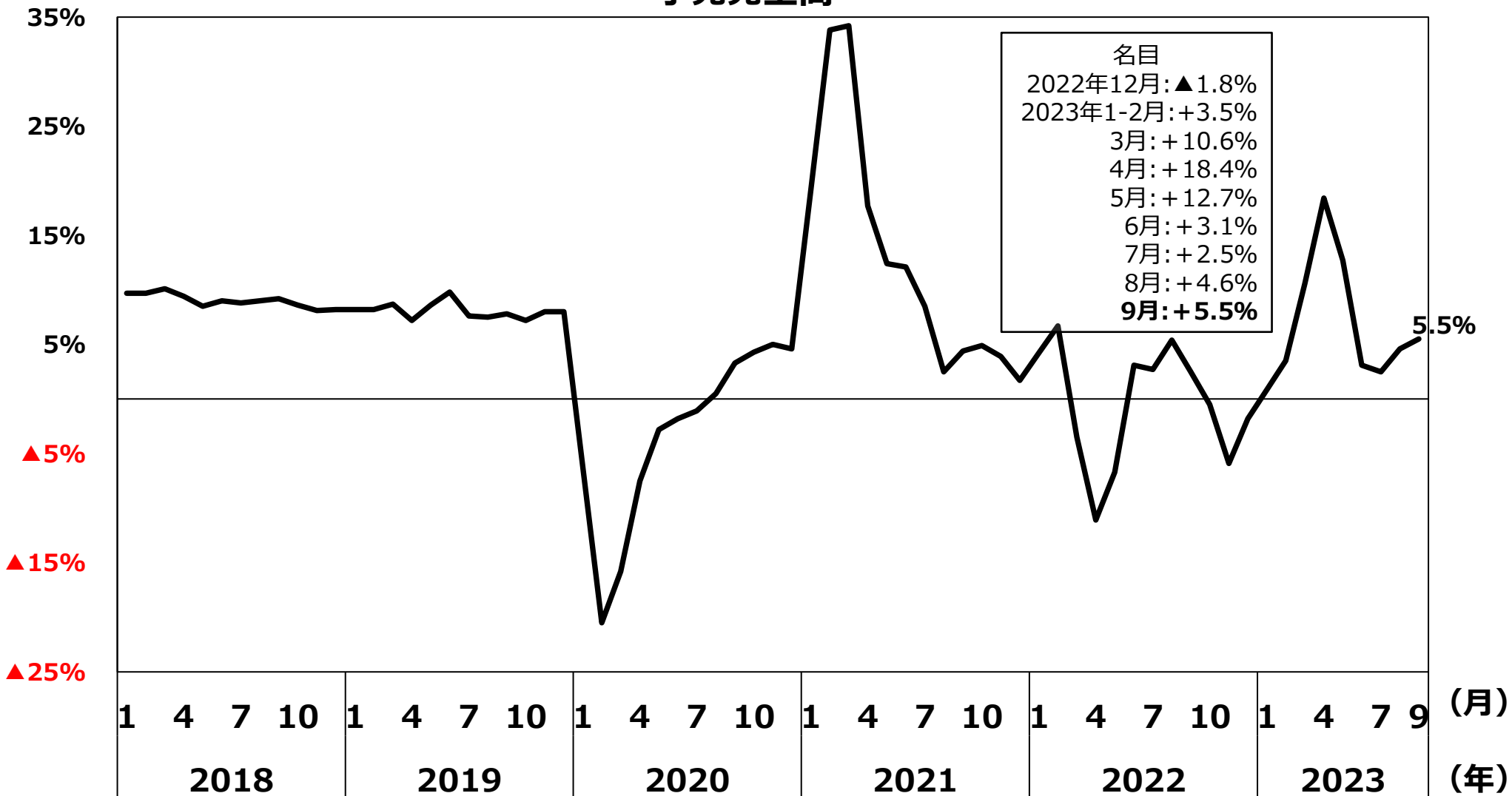
(資料) CEIC(中国国家统计局) 2023年10月18日公表

中国 消費

- 2023年9月の名目小売売上高は、前年同月比+5.5%と、前月（同+4.6%）から伸びが加速。

(前年同月比)

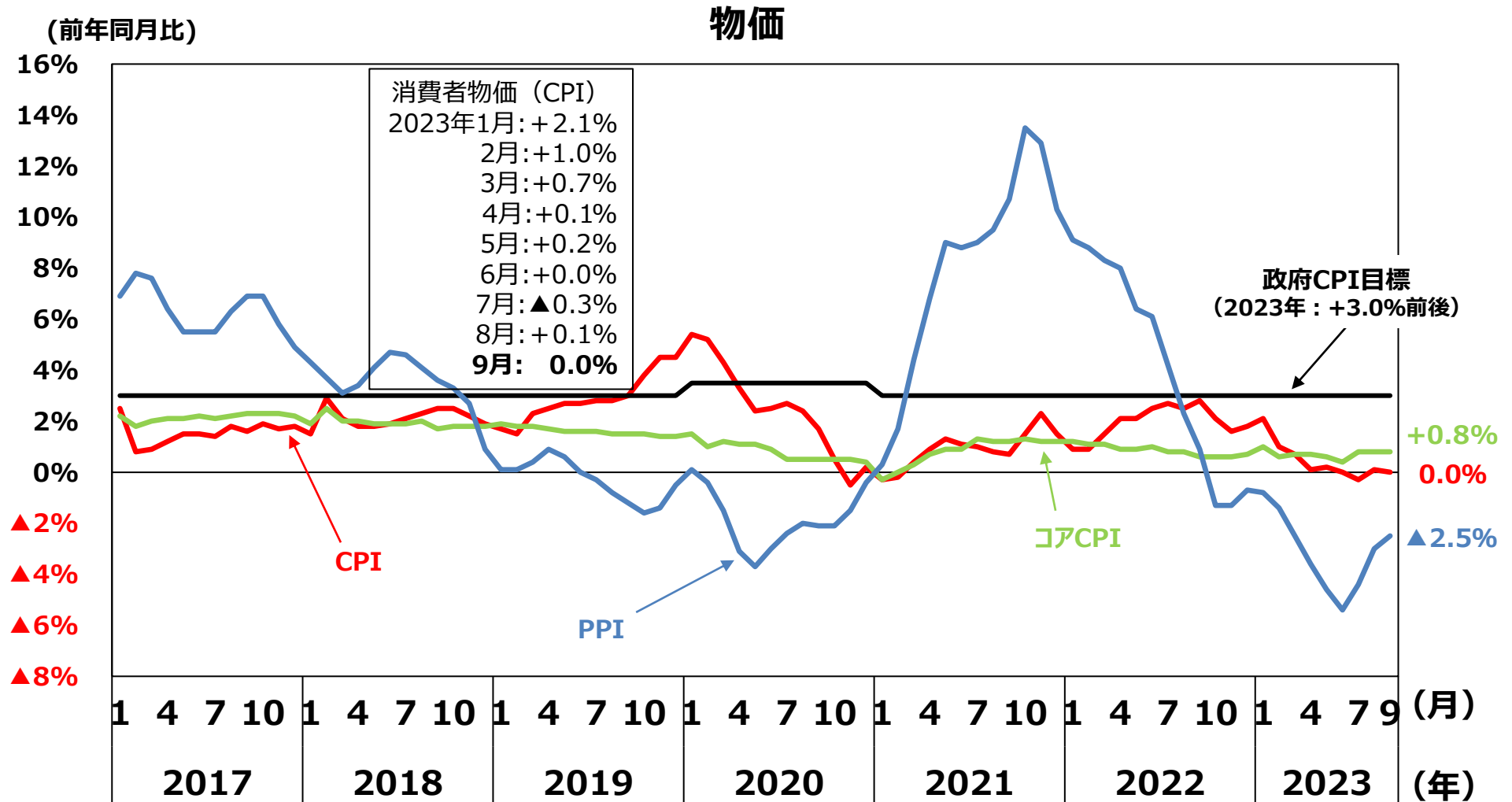
小売売上高



(資料) CEIC(中国国家统计局) 2023年10月18日公表

中国 物価

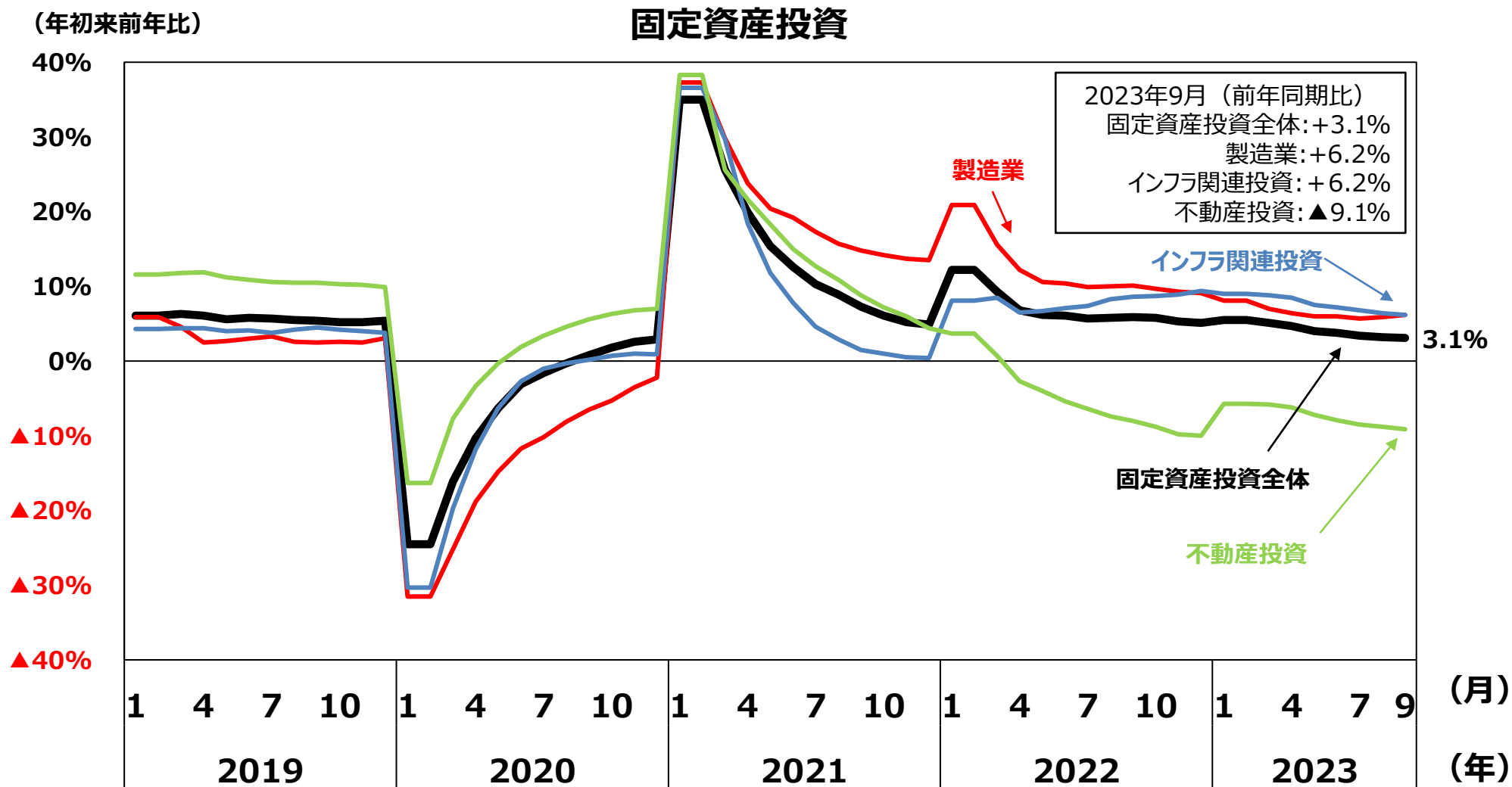
- 2023年9月のCPI（消費者物価指数）は、前年同月比0.0%（前月+0.1%）と低下。
- PPI（生産者物価指数）は、前年同月比▲2.5%（前月:▲3.0%）と12ヶ月連続のマイナスとなった。



(資料) CEIC (中国国家統計局) 2023年10月13日公表

中国 固定資産投資

- 2023年9月の固定資産投資は年初来前年比（注）+3.1%と、前月（同+3.2%）から伸びが鈍化した。



(注) 年初来前年比：1月から当月までの累計の前年比
 (資料) CEIC(中国国家统计局) 2023年10月18日公表

日本經濟

米國經濟

中國經濟

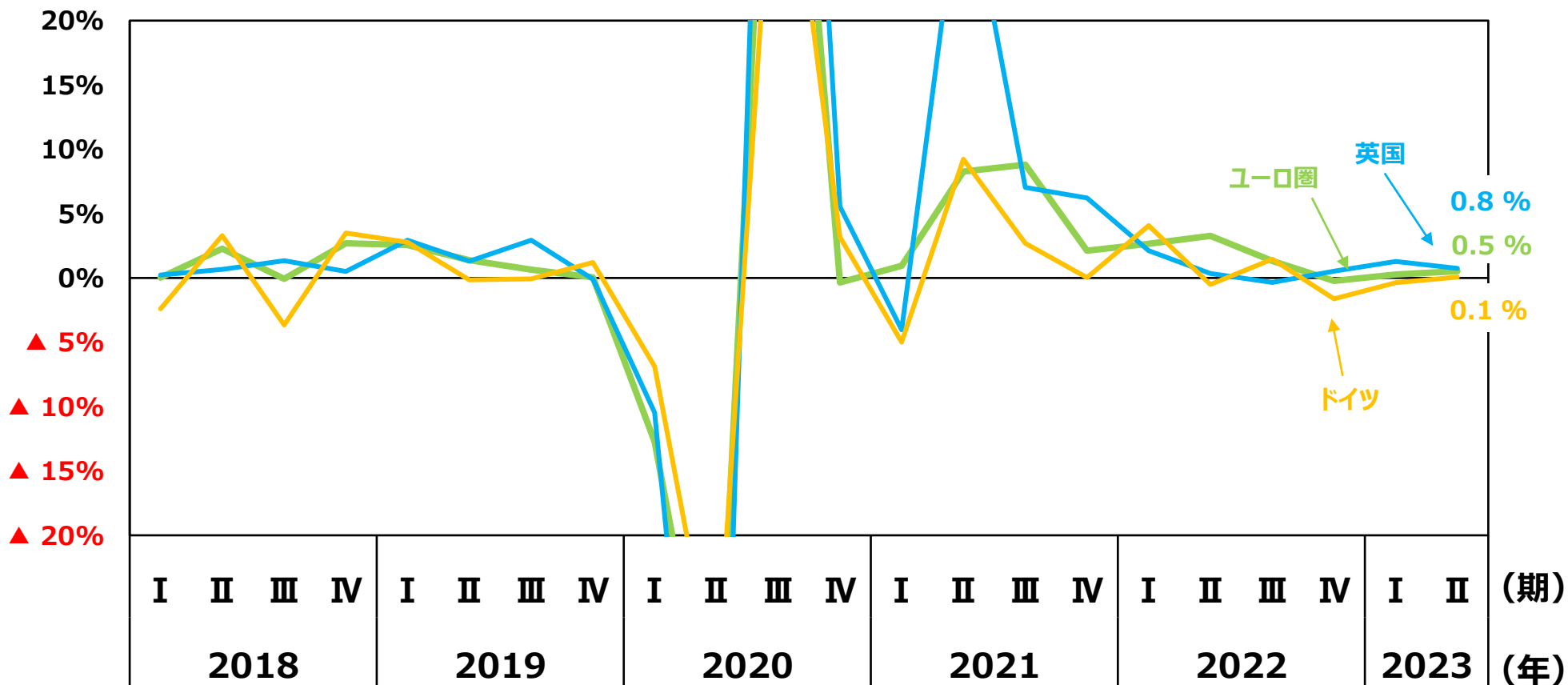
歐洲經濟

欧州 実質GDP成長率

- ユーロ圏の23年4-6月期GDP（確報値）は前期比年率+0.5%と、2四半期連続のプラス成長となり、ドイツ（確報値）は同+0.1%と、3四半期ぶりのプラス成長となった。
- 英国の23年4-6月期GDP（確報値）は前期比年率+0.8%と、3四半期連続のプラス成長となった。

(前期比年率)

実質GDP成長率

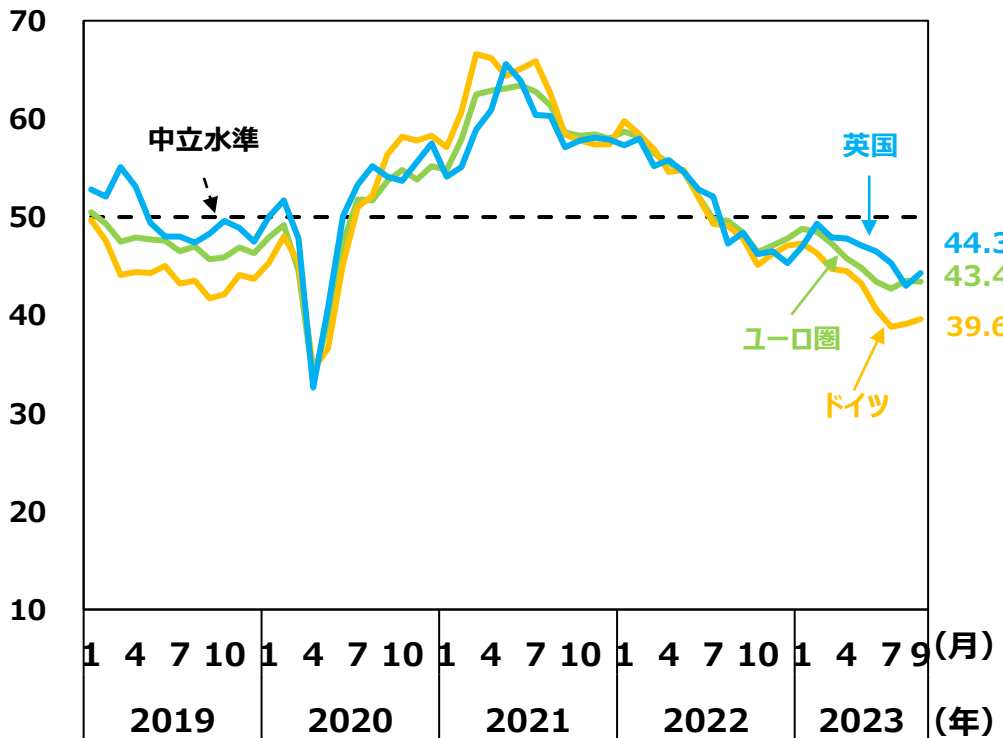


(資料) ユーロ圏：欧州委員会統計局 2023年9月7日公表（確報値）
 英国：英国国家統計局 2023年9月29日公表（確報値）
 ドイツ：ドイツ連邦統計局 2023年8月25日公表（確報値）

欧州 製造業・サービス業景況指数 (PMI)

- ユーロ圏の9月の製造業景況指数は、43.4と前月（43.5）から低下。ドイツは39.6と、前月（39.1）から上昇。
- 英国の9月の製造業景況指数は、44.3と前月（43.0）から上昇。
- ユーロ圏の9月のサービス業景況指数は、48.7と前月（47.9）から上昇。ドイツも50.3と、前月（47.3）から上昇。
- 英国の9月のサービス業景況指数は、49.3と前月（49.5）から低下。

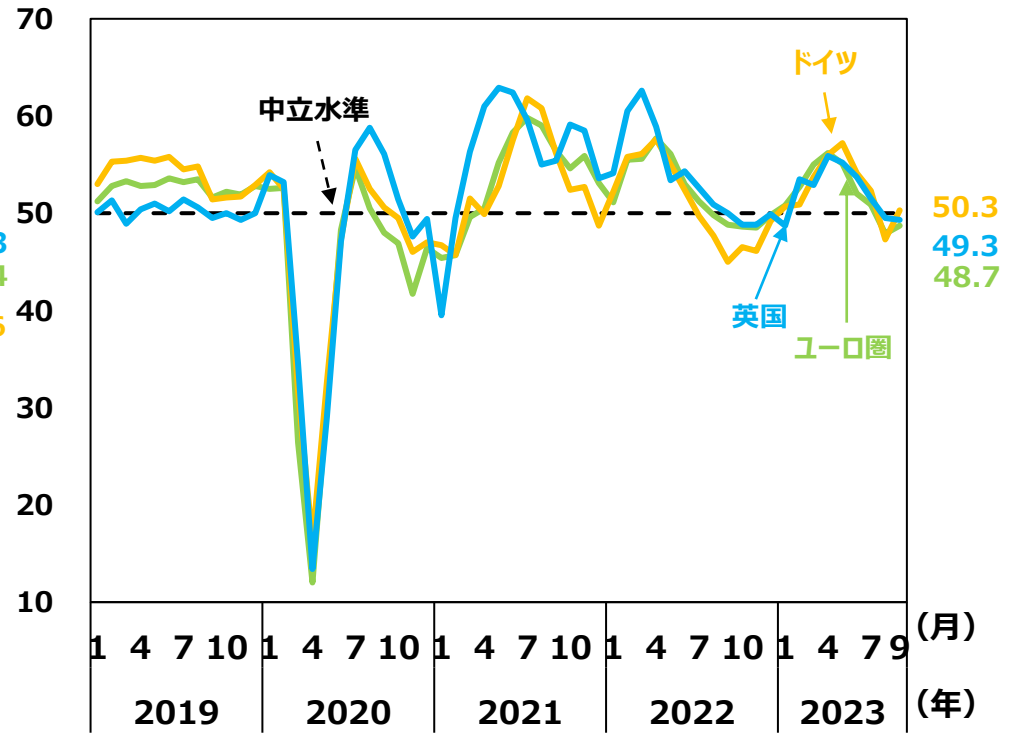
製造業景況指数



(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。

(資料) S&P Global「マーケットPMI」2023年10月2日公表（確報値）

サービス業景況指数



(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。

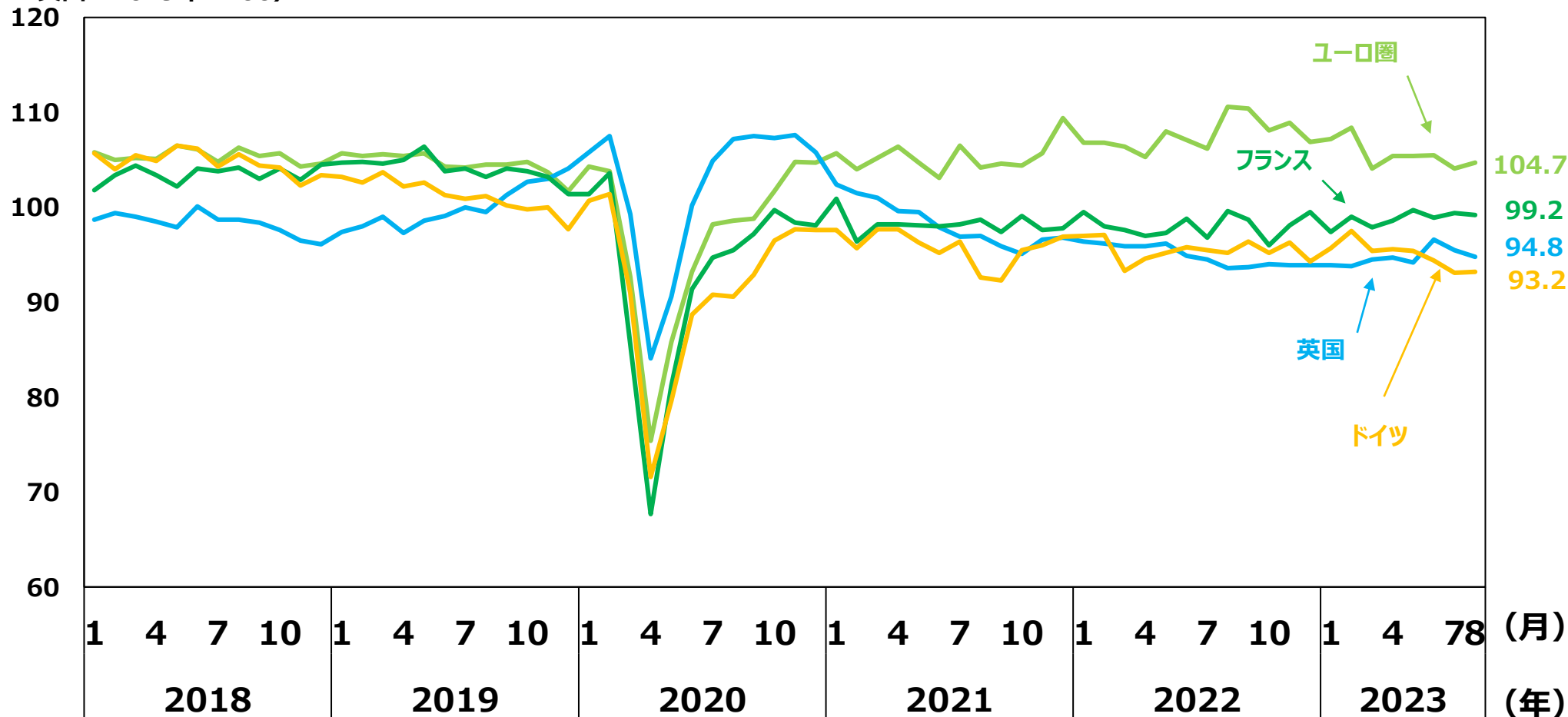
(資料) S&P Global「マーケットPMI」2023年10月4日公表（確報値）

欧州 生産

- ユーロ圏の8月の鉱工業生産指数は前月比+0.6%と、2ヶ月ぶりの上昇。
国別で見ると、ドイツは同+0.1%と上昇した一方で、フランスは同▲0.2%と低下。
- 英国の8月の鉱工業生産指数は前月比▲0.7%と、2ヶ月連続の低下。

(ユーロ圏・ドイツ・フランス：2015年=100、
英国：2019年=100)

鉱工業生産

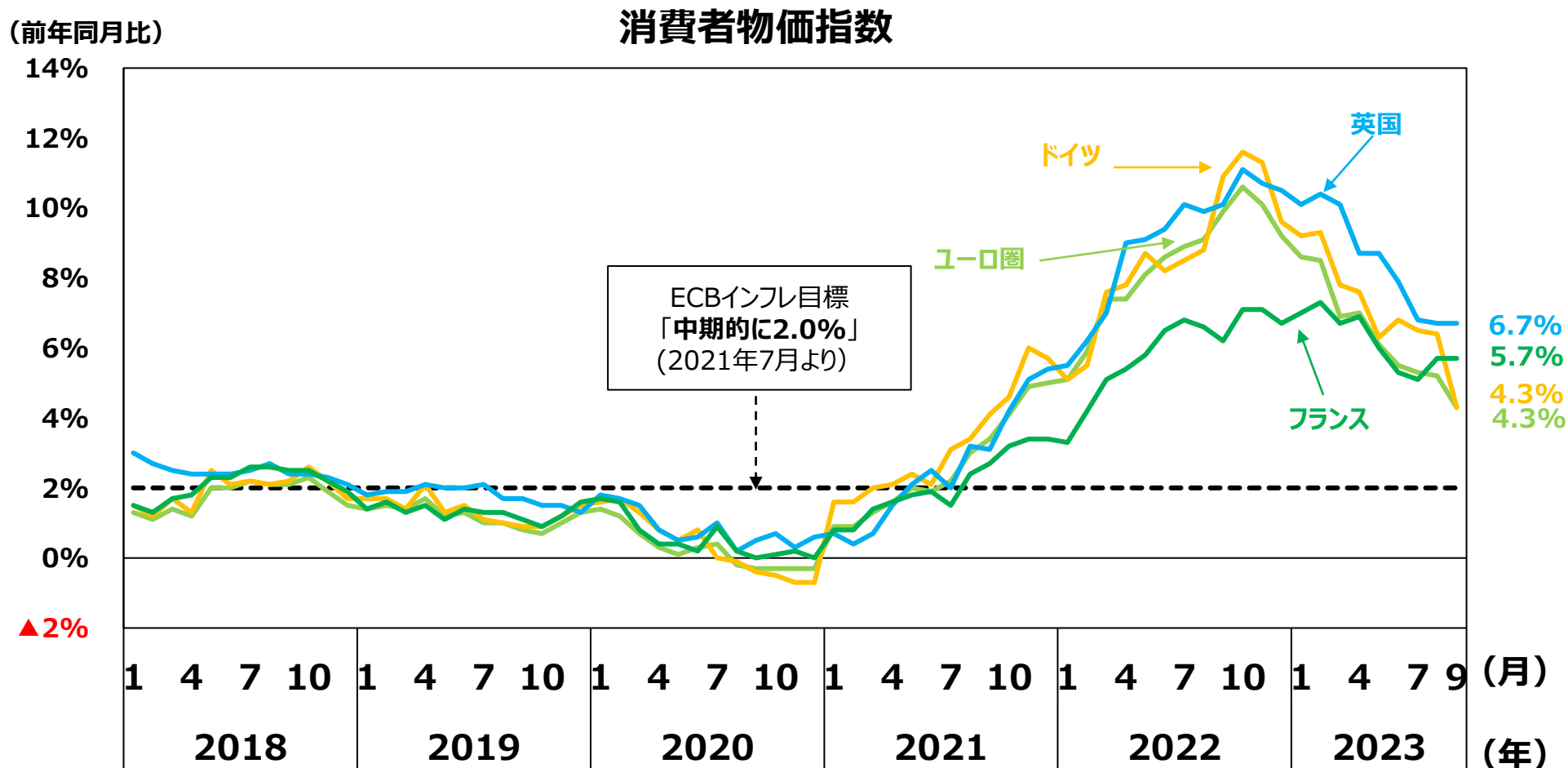


(注) 季節調整値

(資料) 欧州委員会統計局 2023年10月13日公表、英国国家統計局 2023年10月12日公表

欧州 物価①

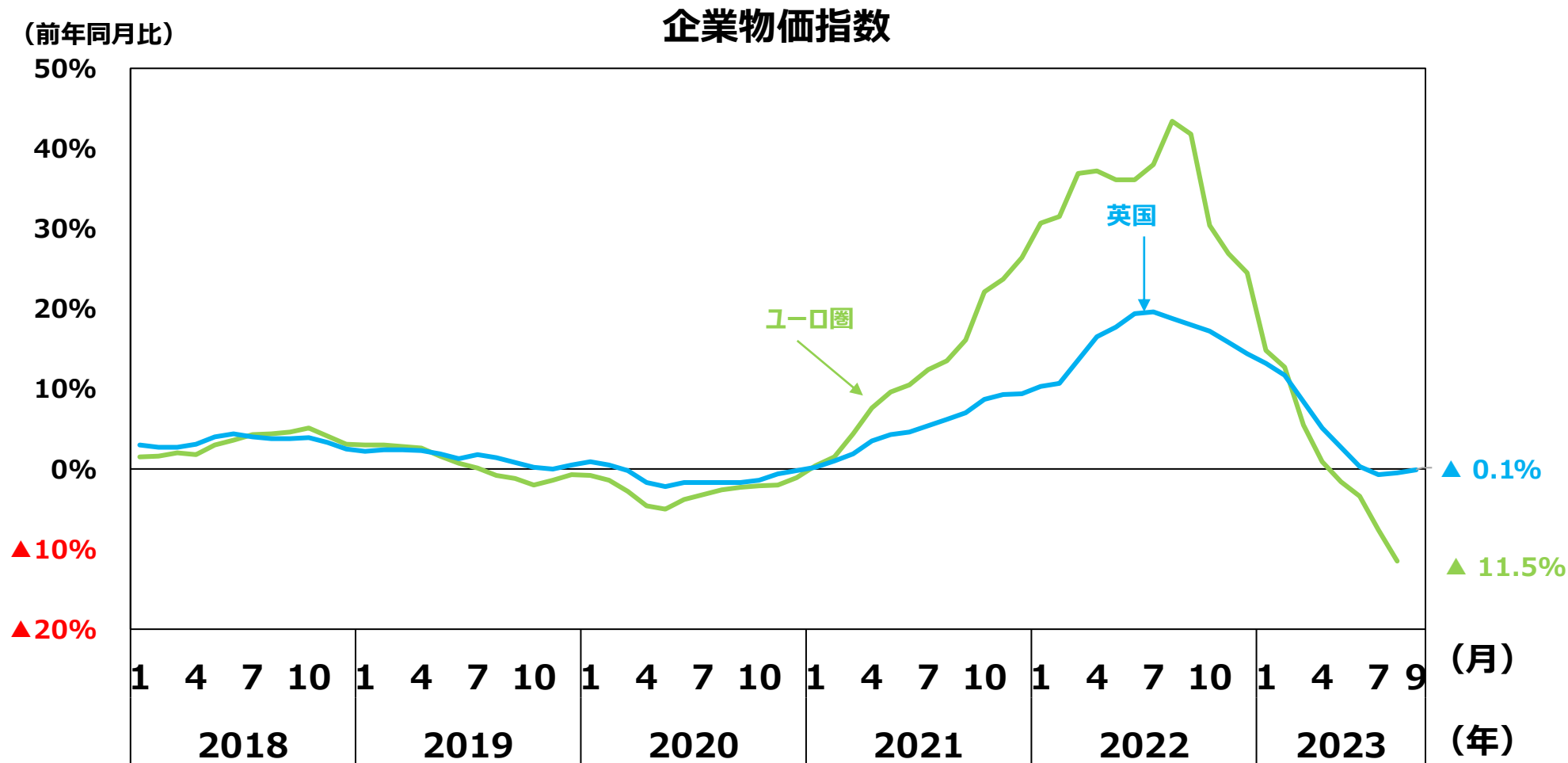
- ユーロ圏の9月の消費者物価（H I C P、改定値）は、前年同月比+4.3%と、前月（同+5.2%）から伸びが鈍化。国別では、ドイツは同+4.3%（前月：同+6.4%）と、伸びが鈍化。フランスは同+5.7%（前月：同+5.7%）と、横ばい。
- 英国の9月の消費者物価（C P I）は、前年同月比+6.7%と、前月（同+6.7%）から横ばい。



（資料）ユーロ圏・ドイツ・フランス：欧州委員会統計局 2023年10月18日公表（改定値）
英国：英国国家統計局 2023年10月18日公表

欧州 物価②

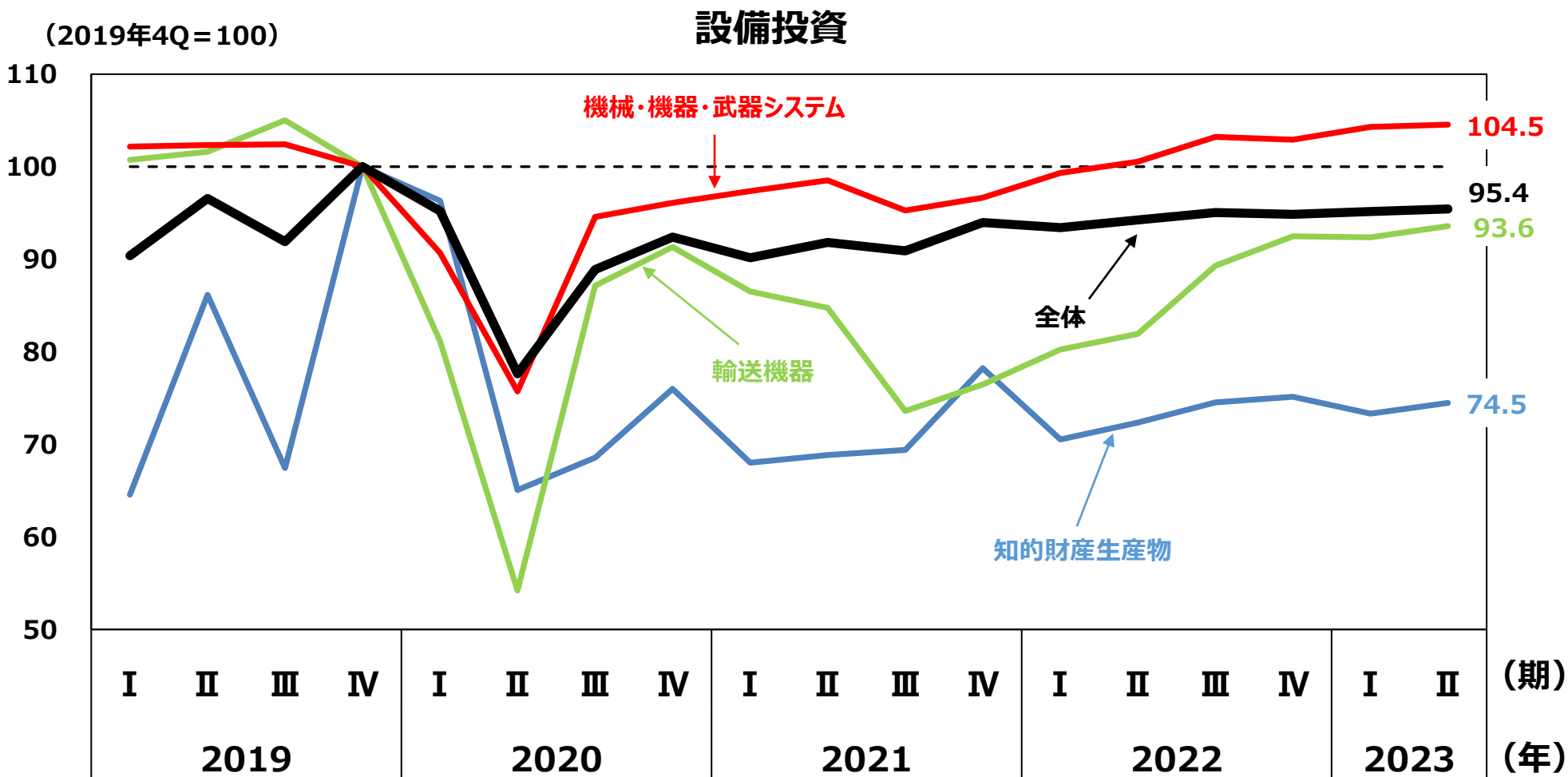
- ユーロ圏の8月の企業物価指数は、前年同月比▲11.5%（前月：同▲7.6%）と、マイナス幅が拡大。
- 英国の9月の生産者物価指数（出荷）は、前年同月比▲0.1%（前月：同▲0.5%）と、マイナス幅が縮小。



（資料）欧州委員会統計局 2023年10月4日公表
英国国家統計局 2023年10月18日公表

欧州 設備投資

- 23年4-6月期の設備投資額は、コロナ禍前の19年10-12月期と比較すると、全体では▲4.6%。
- 分野別では、機械・機器・武器システムは+4.5%、輸送機器は▲6.4%、知的財産生産物は▲25.5%。



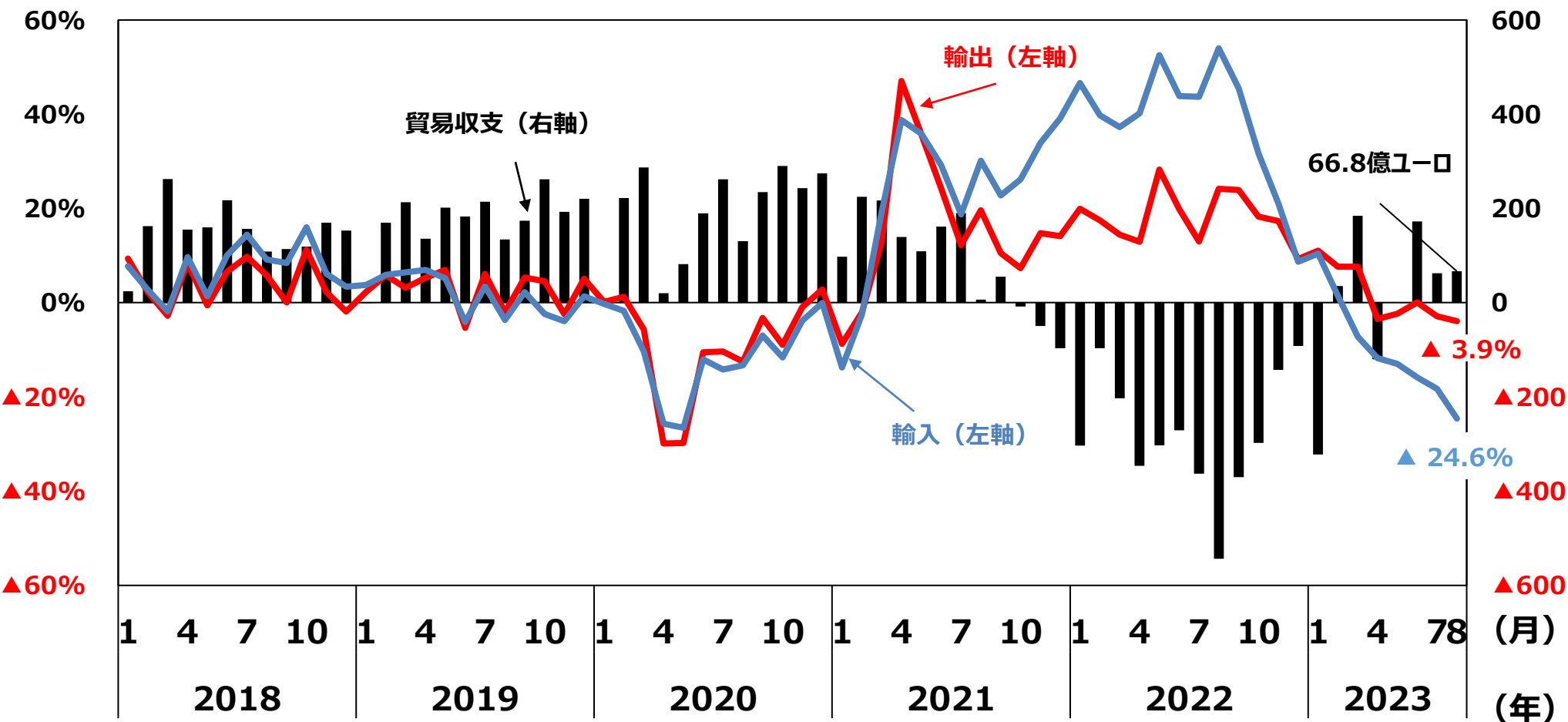
(注) 季節調整値

(資料) 欧州委員会統計局 2023年9月7日公表

欧州 輸出入

- ユーロ圏の8月の輸出額（2,216億ユーロ）は、前年同月比▲3.9%、輸入額（2,149億ユーロ）は、同▲24.6%。
- 貿易収支は+67億ユーロと、4ヶ月連続の黒字。

(前年同月比) **貿易収支** (億ユーロ)

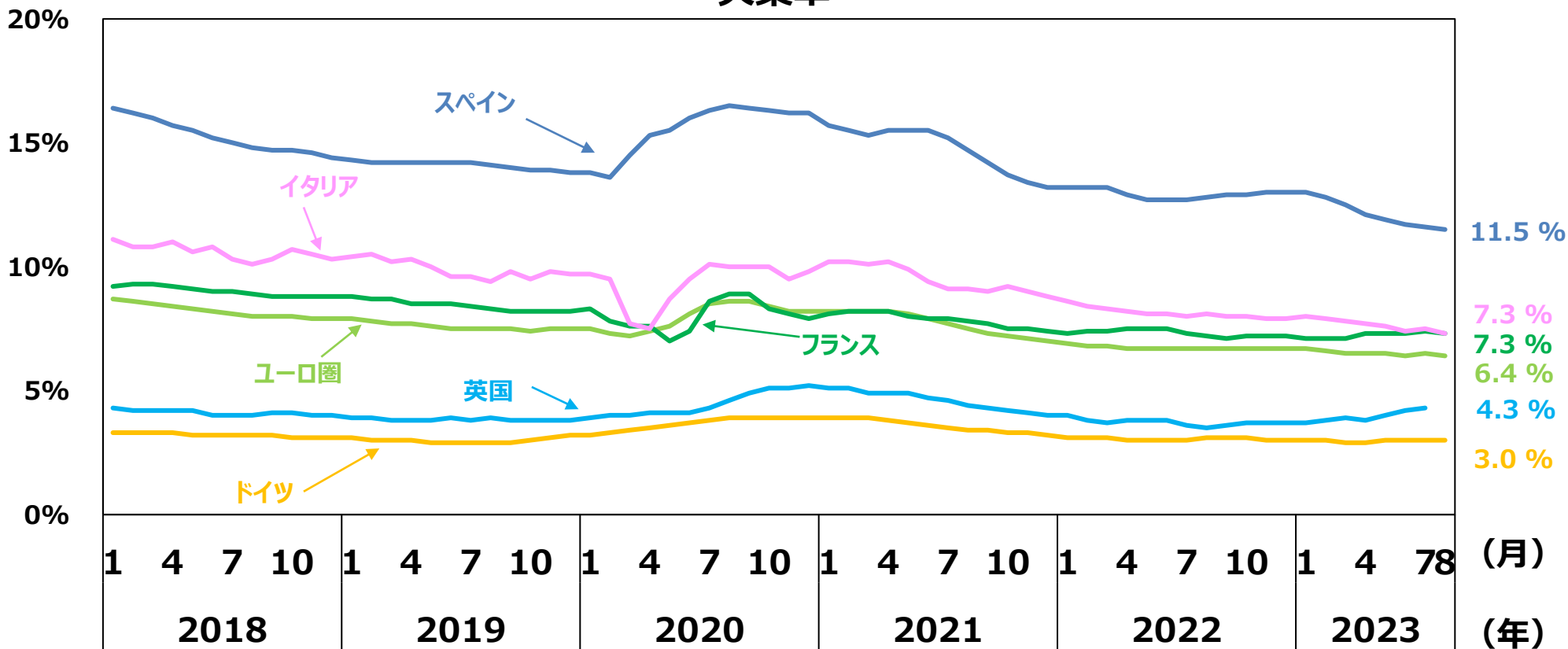


(資料) 欧州委員会統計局 2023年10月16日公表

欧州 雇用

- ユーロ圏の8月の失業率は6.4%と、前月（6.5%）から改善。
- 国別では、フランス（7.4%→7.4%）、イタリア（7.5%→7.3%）、スペイン（11.6%→11.5%）は改善、ドイツ（3.0%→3.0%）は横ばい。
- 英国の7月の失業率は4.3%と、前月（4.2%）から悪化。

失業率



(資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン：欧州委員会統計局 2023年10月2日公表

英国：英国国家統計局 2023年9月12日公表